Offirio

EPSON
EXCEED YOUR VISION

LP-M5600シリーズ

セットアップガイド

- 本機を使用可能な状態にするための準備作業を説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。



マーク

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

!注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品本体が損傷したり、製品本体やソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。必ず守ってお使いください。

参考　補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

　関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

本書では、Windows オペレーティングシステムの各バージョンを「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Server 2003」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。
なお、本製品は Windows XP、Windows Server 2003 ともに 32bit 版、64bit 版に対応していますが、それらも「Windows XP」、「Windows Server 2003」と表記しています。
本書に記載されていない OS については、エプソンのホームページでご確認ください。<http://www.epson.jp/>

Mac OS の表記

本製品が対応している Mac OS のバージョンは Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4.x です。
本書中では、上記オペレーティングシステムをまとめて、「Mac OS X」と表記していることがあります。
またアップルコンピュータ社製のコンピュータを総称して「Mac OS」と表記していることがあります。

マニュアル構成

本製品には、次の説明書が添付されています。

（冊子）	開梱作業を行われる方へ		本機を開梱する際に必ずお読みください。
	セットアップガイド（本書）		本機を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。 必ずお読みいただき、本機を正しくセットアップしてください。
	活用ガイド		コピー、ファクス、本機の操作パネルからローカルおよびネットワーク PC へのスキャンの方法とメンテナンスおよび困ったときの対処方法を説明しています。必ずお読みいただき、本機を正しくご使用ください。
（PDF）	CD-ROM	ソフトウェア機能ガイド for Windows（PDF）	Windows から印刷、スキャンする方法を説明しています。
		ソフトウェア機能ガイド for Mac OS（PDF）	Mac OS から印刷、スキャンする方法を説明しています。
		ネットワーク設定ガイド（PDF）	ネットワーク印刷時の詳細情報とネットワークユーティリティの情報を説明しています。

説明で使用しているイラスト

本書では、LP-M5600F のイラストを使用して各種手順を説明しています。

説明で使用している用語

本書では、本製品の製品名を下記のように呼んでいます。

- LP-M5600：ベースモデル
- LP-M5600A：ADF モデル
- LP-M5600F：FAX モデル

商標およびご注意

EPSON ESC/Page および ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

製品をお使いいただく前に

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されている取扱説明書をお読みください。

本書および製品添付の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

本書および製品添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
	してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	分解禁止を示しています。
	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	アース接続して使用することを示しています。

設置上のご注意

⚠警告	
	**本製品の通風口をふさがないでください。** 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。 布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。 また、取扱説明書で指示された設置スペースを確保してください。

⚠注意	
	**不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。** 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
	**油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
	**本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。** 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
	**本製品は重いので、1 人で運ばないでください。** 開梱や移動の際は２人以上で運んでください。 本製品の質量は『活用ガイド』（紙マニュアル）を参照してください。
	**本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。** 他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下により、けがをするおそれがあります。
	**本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。** 転倒などによる事故のおそれがあります。
	**本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。** 作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

取り扱い上のご注意

⚠警告	
	煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
	異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
	取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。 安全装置が損傷し、レーザー光漏れ・定着器の異常加熱・高圧部での感電など事故のおそれがあります。
	お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。
	本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 引火による火災のおそれがあります。
	各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。
	製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。 感電や火傷のおそれがあります。
	開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	液晶モニタが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。 万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し石鹸でよく洗い流してください。 • 目に入ったときは、きれいな水で最低15分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。 • 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。

⚠注意	
	本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 特に、子供のいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。
	各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。

⚠注意	
❗	**本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。** コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。
🛇	**電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。** 指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。
🛇	**詰まった用紙を取り除く際は、用紙や用紙カセットを無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。** 急に用紙や用紙カセットが引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。
🛇	**本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。** トナーが漏れるおそれがあります。
🛇	**使用中にプリンタの A カバーや B カバーを開けたときは、注意ラベルで示す定着器部分に触れないでください。** 内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。
❗	**下記のような条件を避けて使用してください。** 本製品の排気には、人体に影響を与えるような物性は含まれておりませんが、お使いの環境条件によっては、排気臭を不快に感じることがあります。 • 製品の環境使用条件外での使用 • 狭い部屋での複数レーザープリンタの使用 • 換気が悪い場所での使用 • 上記条件下での長時間連続稼働
🛇	**紙詰まりの状態で放置しないでください。** 定着器が加熱し、発煙・発火による火災のおそれがあります。

電気に関するご注意

⚠警告	
🛇	**AC100V 以外の電源は使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
🛇	**電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
❗	**電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。** 感電・火災のおそれがあります。
🛇	**付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。

⚠警告	
	破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。
	電源コードのたこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。
	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
	電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。
	本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。 アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電･火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。 • 電源コンセントのアース端子 • 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの • 接地工事（第 3 種）を行っている接地端子 アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。
	次のような場所にアース線を接続しないでください。 • ガス管（引火や爆発の危険があります） • 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です） • 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）

⚠注意	
	長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

消耗品に関するご注意

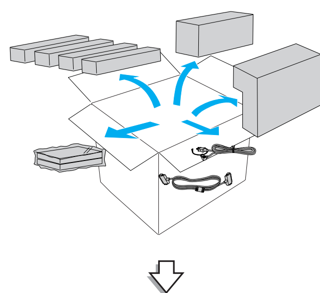
⚠警告	
	**消耗品（トナーカートリッジ、廃トナーボックス、感光体ユニット）を、火の中に入れないでください。** トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。
	**こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。** こぼれたトナーを掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより、内部に吸い込まれたトナーが粉じん発火するおそれがあります。床などにこぼれてしまったトナーは、ほうきで掃除するか中性洗剤を含ませた布などでふき取ってください。

⚠注意	
	**トナーカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。** 取り扱いを誤ってけがをしたり、トナーが漏れるおそれがあります。
	**こぼれたトナーを吸引したり、皮膚に触れないようにしてください。** トナーは人体に無害ですが、処理時にはマスクや手袋を着用してください。
	**トナーが手や服などに付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは、以下の処置をしてください。** • 皮膚に付着したときは、水や石けんでよく洗い流してください。 • 衣服に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。 • 目に入ったときは、水でよく洗い流してください。 • 口に入ったときは、すぐに吐き出してください。吸引してしまったときは、その環境から離れ、多量の水でよくうがいをしてください。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。
	**印刷用紙の端を手でこすらないでください。** 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の喪失など）は、補償いたしかねます。

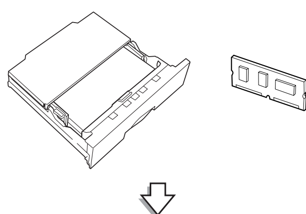
セットアップ作業の流れ



手順 1 ：開梱と梱包内容の確認　9 ページ

9 ページ

本製品を搬入後、梱包箱から取り出して、保護材を取り外すまでの作業について説明しています。

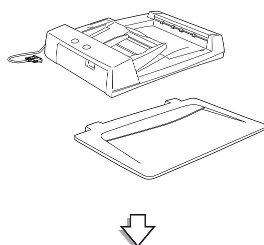


手順 2：オプション品の装着（増設カセット / 増設メモリ）

15 ページ

増設カセットユニット、増設メモリの装着方法について説明しています。

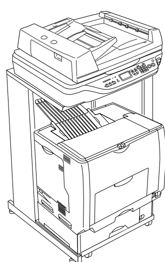
オプションの専用ラックの組み立て方法は、専用ラック付属の取扱説明書をご覧ください。



手順 3：付属品の組み立て

22 ページ

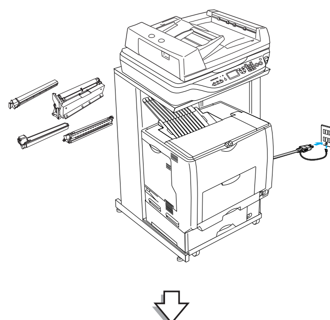
オートドキュメントフィーダまたは原稿カバーと電源コードを取り付けます。



手順 4：設置場所の確認と設置

26 ページ

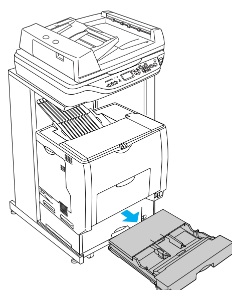
専用ラックの有無などに応じて設置スペースを確認し、各部を設置します。



手順 5：専用ケーブルおよび電源の接続と消耗品の取り付け

32 ページ

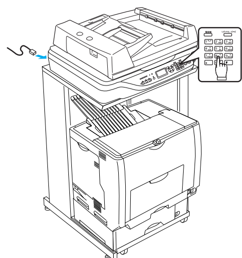
専用ケーブルを接続した後、電源に接続して消耗品を取り付けます。



手順 6：用紙のセット　41 ページ

用紙をセットします。

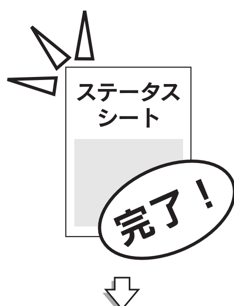




手順 7：ファクス機能の初期設定（FAX モデル）　51 ページ

ファクス機能を使用するための設定をします。

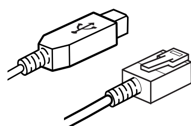




手順 8：動作確認　56 ページ

本機が正しく動作するか確認します。





手順 9：USB 接続でのセットアップ　61 ページ
ネットワーク接続でのセットアップ (Windows)　68 ページ

本機とコンピュータを接続して使用するためのセットアップを行います。
使用するケーブル（接続方法）に合った項目をお読みください。

開梱と梱包内容の確認

開梱します

作業時には以下の点に注意してください。

⚠注意
プリンタ部およびスキャナ部 / オートドキュメントフィーダを持ち上げる際は必ず 2 人以上で作業を行ってください。 プリンタ部の質量は約 46kg（標準用紙カセット 1 および消耗品を含み、オプションを除く）、オートドキュメントフィーダとスキャナ部の質量はそれぞれ約 13kg です。 プリンタ部を持ち上げる場合は、必ずプリンタ部正面 / 背面にある持ち運び用ハンドルと左側下部のくぼみの部分に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタ部の落下によるけがの原因となります。またプリンタ部に無理な力がかかるため、プリンタ部の損傷の原因となります。
各パーツを持ち上げる場合、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがや各パーツの破損の原因となります。
プリンタ部を移動する場合は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。 転倒などによる事故の原因となります。

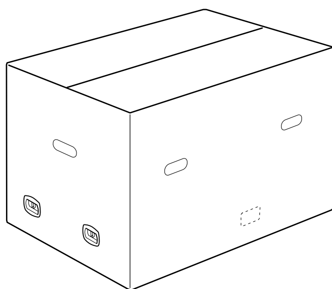
FAX モデル /ADF モデル

プリンタ部とスキャナ部、オートドキュメントフィーダ、付属品が梱包されているスターターキットの 4 箱で構成されています。

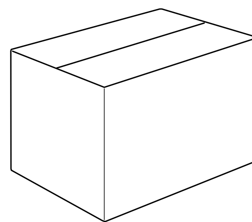
ベースモデル

プリンタ部とスキャナ部、付属品が梱包されているスターターキットの 3 箱で構成されています。

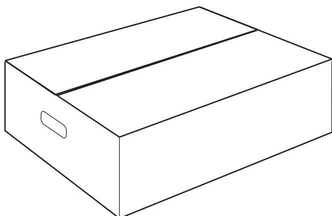
□プリンタ部



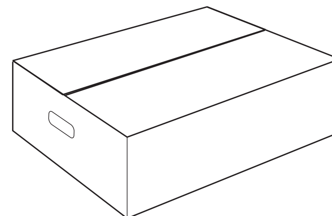
□スターターキット



□スキャナ部



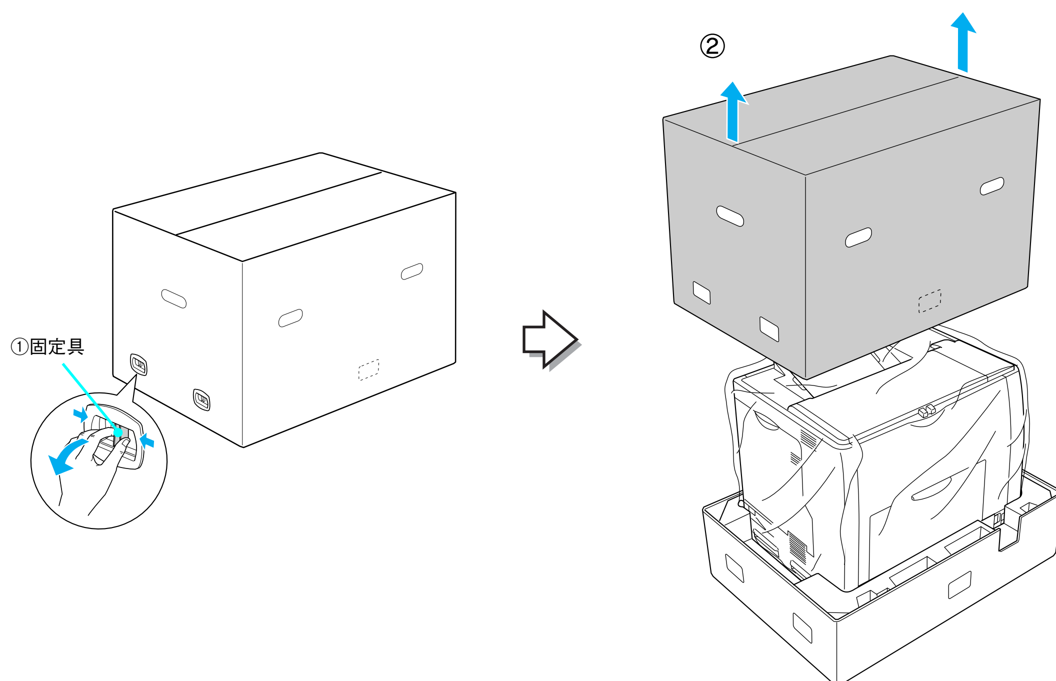
□オートドキュメントフィーダ（FAX モデル /ADF モデル）



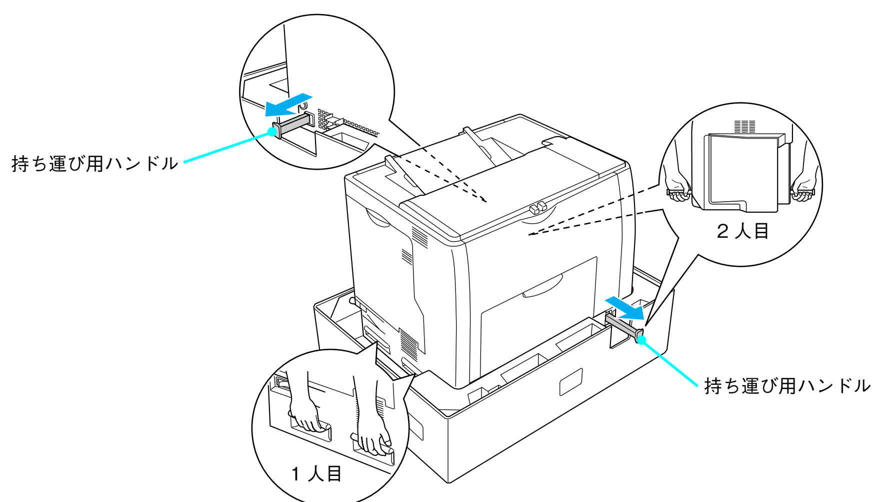
参考	
	• 固定具や保護材は予告なく変更される場合があります。 • 梱包箱や保護材は、再輸送する際に使用しますので、なくさないように保管してください。

1 プリンタ部の梱包箱を開きます。

① 梱包箱の固定具（5 箇所）のツマミをつまんで取り外します。
② 梱包箱を持ち上げて取り外します。
　梱包箱を包んでいるビニール袋などの保護材も取り外してください。

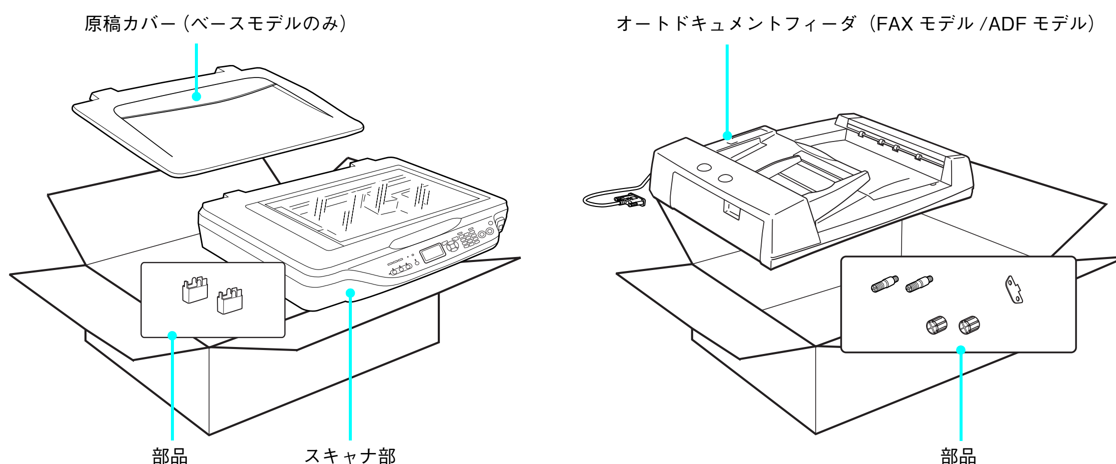


プリンタ部を移動するときは、持ち運び用ハンドルに貼ってある青いテープをはがし、下図のように持ち運び用ハンドルを引き出した後、必ず 2 人以上で前面と背面の持ち運び用ハンドルと、左側のくぼみの部分に手をかけて持ち上げて移動します。

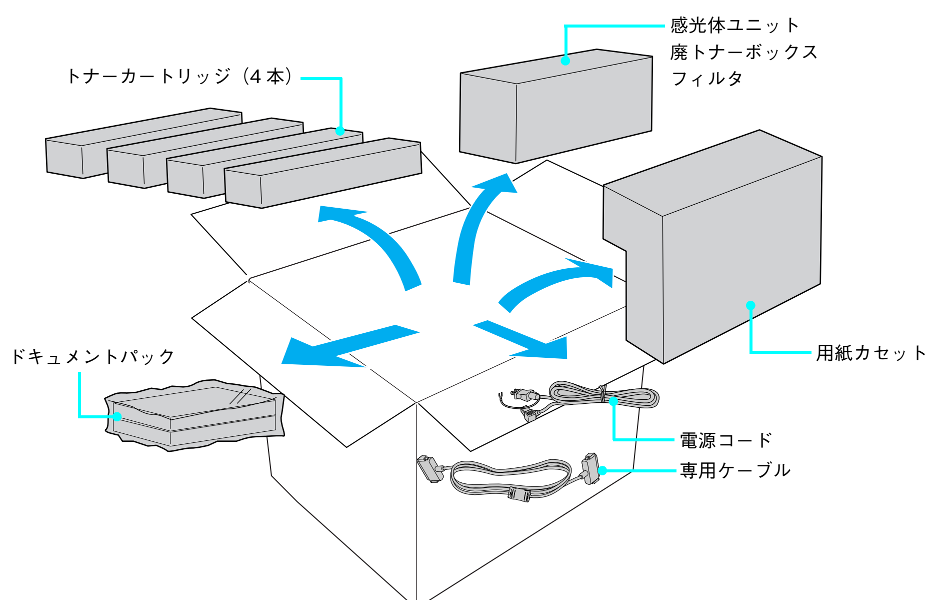


! 注意　開梱時には冷えた製品を暖かい室内に設置するなど、急激な温度変化を避けてください。結露の原因になります。

2 スキャナ部とオートドキュメントフィーダの梱包箱を開きます。



3 スターターキットから梱包品を取り出します。



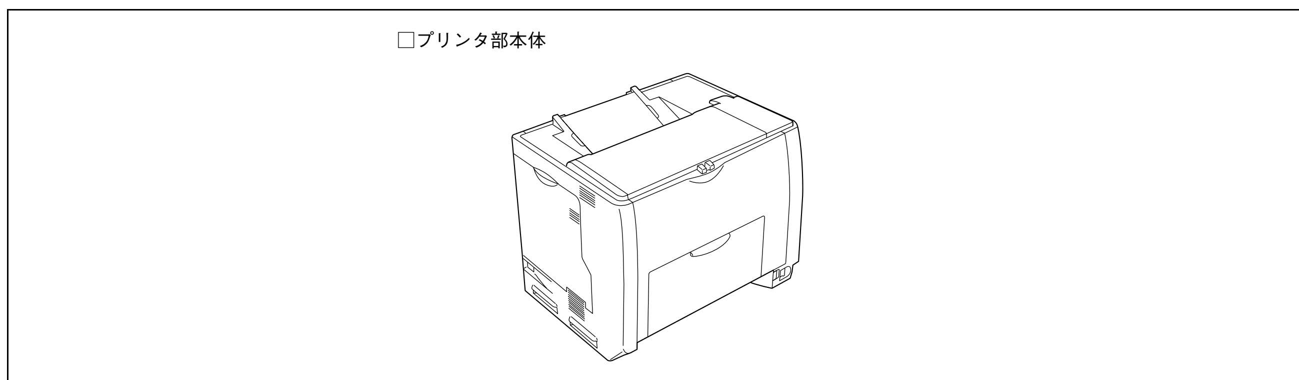
以上で開梱は終了です。

本書 12 ページ「梱包内容を確認します」

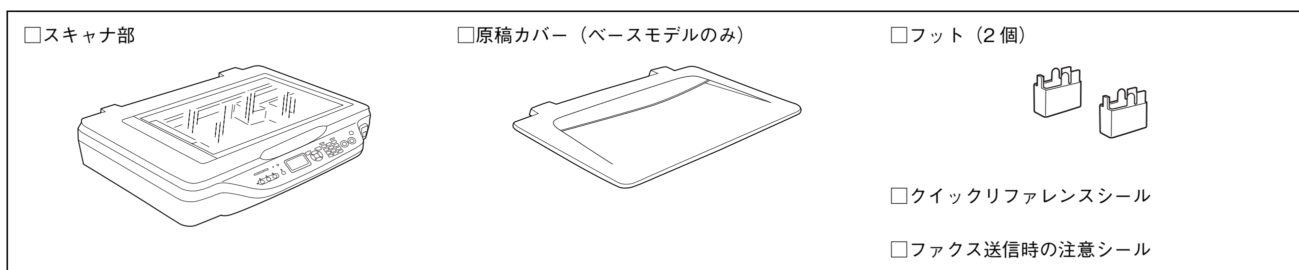
梱包内容を確認します

次のものがそろっていること、それぞれに損傷がないことを確認してください。

プリンタ部

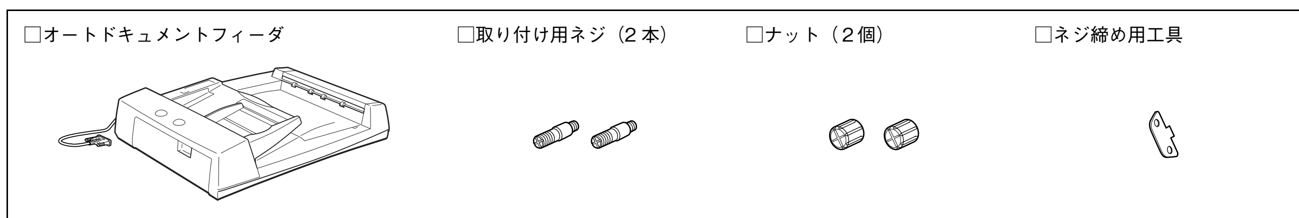


スキャナ部



参考 フットは、オートドキュメントフィーダの取り付けに必要な部品です。ベースモデルを購入された場合も、オプションのオートドキュメントフィーダをご購入の際には必要になりますので、なくさないよう保管してください。

オートドキュメントフィーダ部（FAX モデル /ADF モデル）



次ページへ続きます。

スターターキット

□トナーカートリッジ（4本）　□用紙カセット　□感光体ユニット

□廃トナーボックス　□フィルタ　□電源コード　□専用ケーブル

□ドキュメントパック

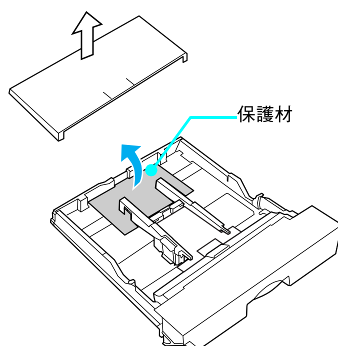
取扱説明書（2冊）	• セットアップガイド（本書） • 活用ガイド
CD-ROM（2枚）	•EPSON ソフトウェア CD-ROM：以下のものが収録されています。 各種ソフトウェア / フォント（バーコード、TrueType）、 各種ユーティリティ ソフトウェア機能ガイド（PDF） ネットワーク設定ガイド（PDF）など •PageManager For EPSON CD-ROM
ライセンスシート（1枚）	• Page Manager 7 for EPSON

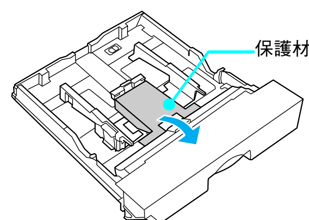
＊ 上記同梱物の他に、各種ご案内や試供品が同梱されている場合がありますのでご了承ください。

保護材を取り外します

1 プリンタ部およびスキャナ部、オートドキュメントフィーダ本体に貼ってある青いテープをすべてはがします。

2 用紙カセットに貼ってある青いテープをすべてはがし、保護材（2箇所）も取り外します。

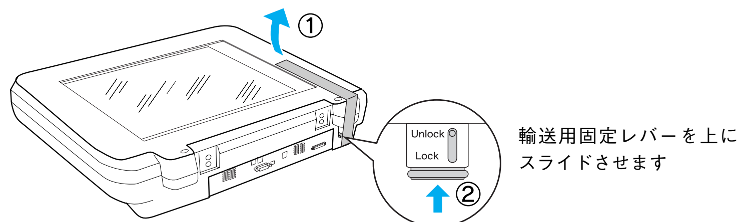




！注意　テープや保護材は必ずすべて取り外してください。取り外さないまま［電源］スイッチをオンにすると故障の原因となります。

輸送用固定レバーを解除します

1 **①黄色のテープをはがしてから、②スキャナ部背面の輸送用固定レバーをロック解除位置（Unlock）にスライドさせます。**



! 注意	輸送用固定レバーは、輸送時以外はロックしないでください。

以上で開梱作業は終了です。

- オプション（増設カセットユニット、増設メモリ）を装着する場合
  ☞ 本書 15 ページ「オプション品の装着（増設カセット / 増設メモリ）」
- オプションを装着しない場合
  ☞ 本書 22 ページ「付属品の組み立て」

オプション品の装着（増設カセット / 増設メモリ）

ここでは、オプションの増設カセットユニット、増設メモリの装着方法を説明しています。
オプションの MFP 専用ラック（LPMRACK2）、ラック専用プリンタ台（LPMPD2）、専用スキャナスタンド（CSCBN8A）を使用する場合は、オプションに添付の取扱説明書を参照して組み立ててください。

増設カセットユニットを取り付けます

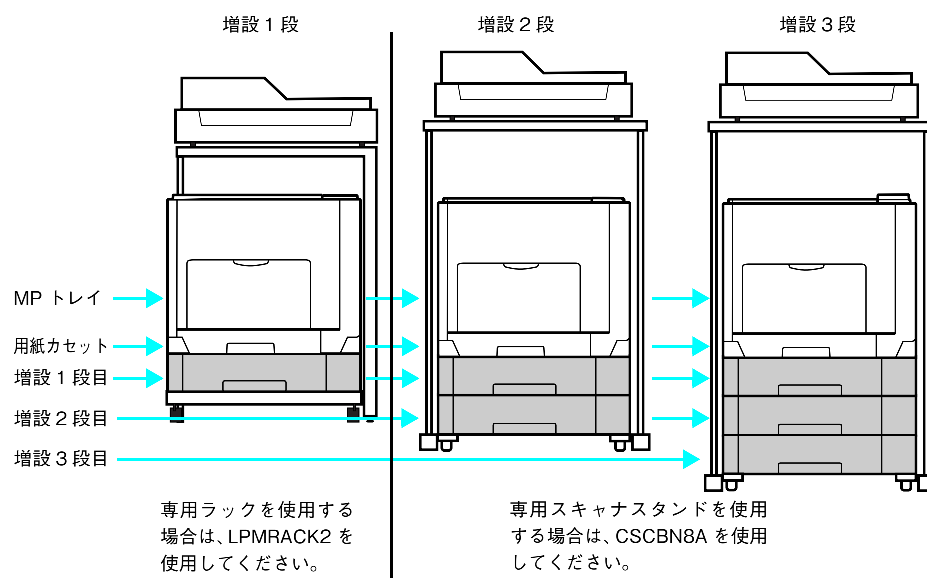
ここでは 1 段目の増設カセットユニットを装着する手順を説明します。2、3 段目の増設カセットユニットを取り付ける手順も同様の手順としてお読みください。

⚠注意

- 本機を持ち上げる際は必ず 2 人以上で作業を行ってください。プリンタ部の質量は、約 46kg（標準用紙カセット 1 および消耗品を含み、オプションを除く）です。プリンタ部を持ち上げる場合は、必ずプリンタ部正面 / 背面にある持ち運び用ハンドルと左側下部のくぼみの部分に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタ部の落下によるけがの原因となります。また本体に無理な力がかかるため、損傷の原因となります。
- プリンタ部を持ち上げる場合は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタ部の破損の原因となります。
- プリンタ部に増設カセットユニットを2段増設する場合は、一番下に必ず増設1段カセットユニット（転倒防止付 /2 段目用）（型番：LPA3CZ1CT2）または増設カセットユニットキャスタ付き（型番：LPA3CZ1CC2）を取り付けてください。移動に便利であり、転倒防止機能が付いているので安全です。
- プリンタ部に増設カセットユニットを3段増設する場合は、一番下に必ず増設カセットユニットキャスタ付き（型番：LPA3CZ1CC2）を取り付けてください。移動に便利であり、転倒防止機能が付いているので安全です。
- プリンタ部を移動する場合は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- プリンタ部を増設カセットユニットキャスタ付き（型番：LPA3CZ1CC2）やキャスタ（車輪）付きの台などに載せる場合は、必ずキャスタを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。固定しないと作業中に思わぬ方向に動いて、けがやプリンタ部の損傷の原因となります。

増設カセットの組み合わせ図

増設カセットユニットは以下の組み合わせで取り付けてください。



	型番					
増設	増設 1 段			増設 2 段		増設 3 段
1 段目	LPA3CZ1CU2	LPA3CZ1CT2	LPA3CZ1CC2	LPA3CZ1CU2		LPA3CZ1CU2
2 段目	–	–	–	LPA3CZ1CT2	LPA3CZ1CC2	LPA3CZ1CU2
3 段目	–	–	–	–	–	LPA3CZ1CC2

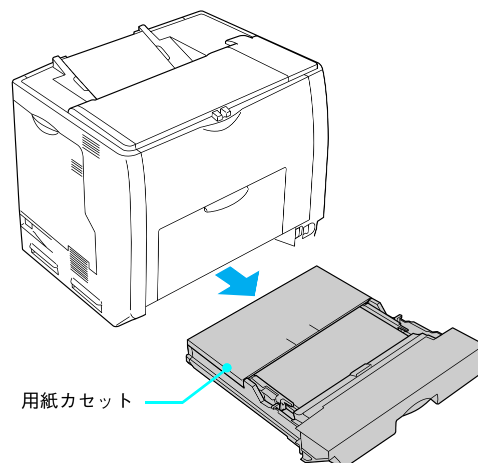
- 増設 1 段カセットユニット（転倒防止付 /2 段目用）（型番：LPA3CZ1CT2）は上記の組み合わせで増設してください。
- 増設カセットユニットキャスタ付き（型番：LPA3CZ1CC2）は最下段に 1 台しか装着できません。
- 増設 1 段カセットユニット（転倒防止付 /2 段目用）（型番：LPA3CZ1CT2）と増設カセットユニットキャスタ付き（型番：LPA3CZ1CC2）を組み合わせて装着することはできません。

取り付けは以下の手順に従って行ってください。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

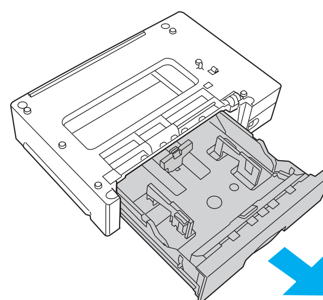
1 増設するオプションを用意します。

取り付け前に、損傷のないことを確認してください。また増設カセットユニットに添付されている取扱説明書を参照して、同梱されているものがすべてそろっていることを確認してください。万一足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

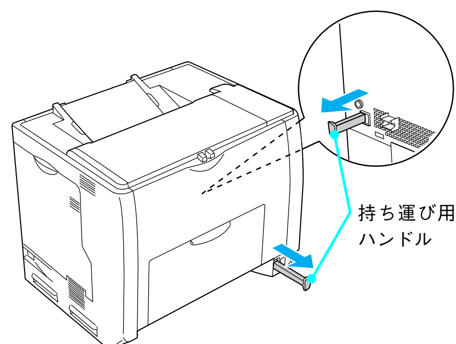
2 用紙カセットを引き出して取り外します。



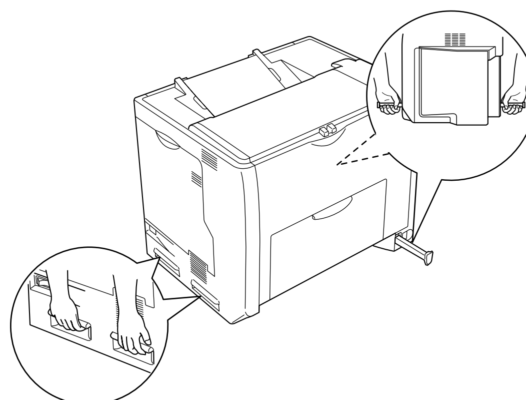
3 増設するカセットユニットを水平な場所に置き、用紙カセットを引き出して取り外します。



4 プリンタ部前面と背面にある持ち運び用ハンドルを引き出します。

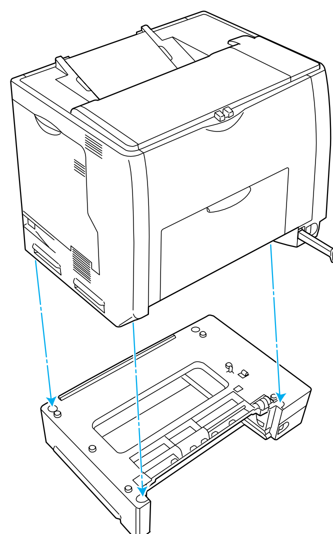


5 図のように２人で本機を持ち上げ、水平に保ちます。



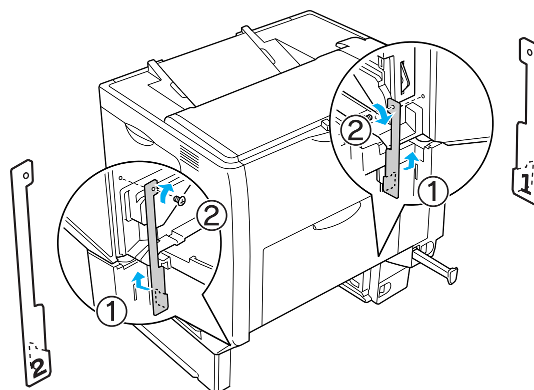
6 増設カセットユニットの上にプリンタ部を置きます。

プリンタ部の前面と増設カセットユニットの前面を図のように合わせ、増設カセットユニットのピンとプリンタ部底面の穴が合うようにします。



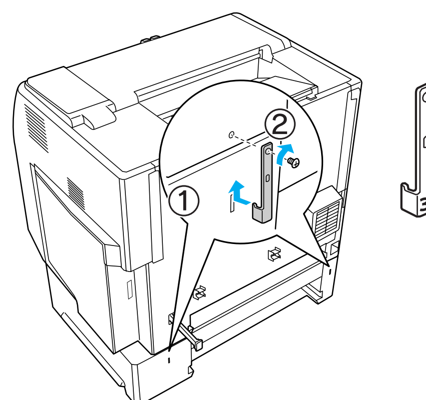
7 プリンタ部（または一段上の増設カセットユニット）と増設カセットユニットの前面（2箇所）を固定板とネジで固定します。

①固定板を取り付けてネジ穴に合わせてから、②ネジで固定します。前面（2 箇所）の固定板の形状が異なりますので、形状を確認してから取り付けてください。

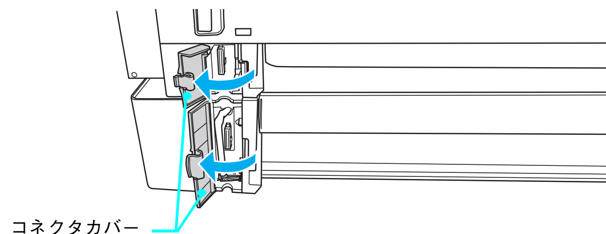


8 プリンタ部（または一段上の増設カセットユニット）と増設カセットユニットの背面（2箇所）を固定板とネジで固定します。

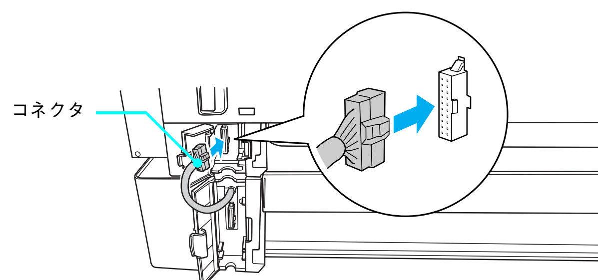
①固定板を取り付けてネジ穴に合わせてから②ネジで固定します。



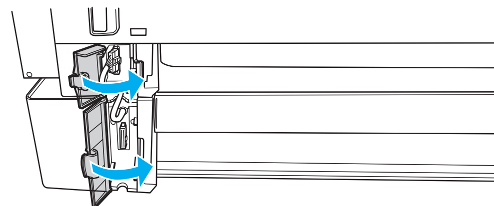
9 **プリンタ部(または一段上の増設カセットユニット)と増設カセットユニット背面のコネクタカバーを開きます。**



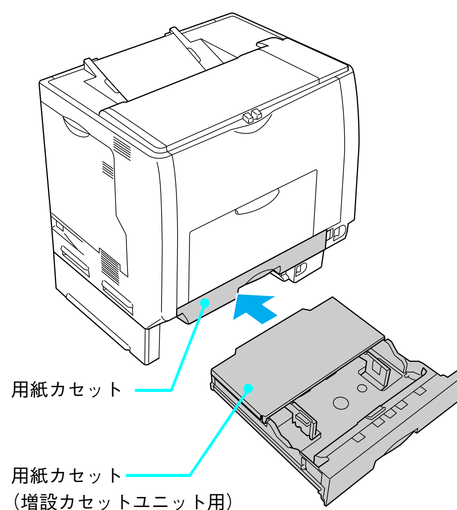
10 **コネクタの向きを確認して、プリンタ部(または一段上の増設カセットユニット)のソケットにしっかりと接続します。**



11 **プリンタ部(または一段上の増設カセットユニット)と増設カセットユニットの背面のコネクタカバーを閉じます。**



12 **取り外した用紙カセットをセットします。**



以上で増設カセットユニットの取り付けは終了です。

オプションの増設メモリを取り付ける場合

以下のページへ進みます。

☞ 本書 15 ページ「増設カセットユニットを取り付けます」

オプションの増設メモリを装着しない場合

以下のページへ進みます。

☞ 本書 22 ページ「付属品の組み立て」

増設メモリを取り付けます

⚠警告	指示されている以外の分解はしないでください。けがや感電、火傷の原因となります。

⚠注意	増設メモリの取り付けは、電源コードを取り外した状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

最大 576MB まで増設することができます。メモリを増設することにより、サイズの大きいデータや複雑なデータを高解像度で印刷できるようになります。

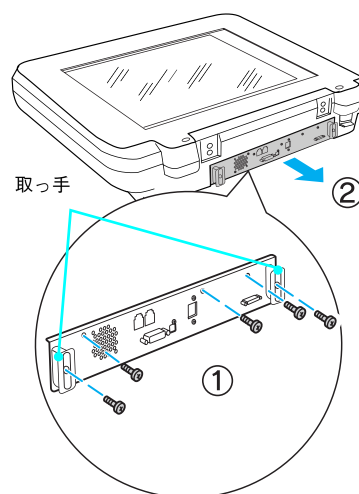
参考	使用できるメモリの詳細は、下記エプソンのホームページから本機のオプション情報をご覧ください（http://www.epson.jp/）。

取り付けは次の手順に従って行ってください。取り付け作業にはプラスドライバが必要です。

！注意	増設メモリの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、本機以外の接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

1 背面カバーのネジ（5 本）を外して、背面カバーを引き抜きます。

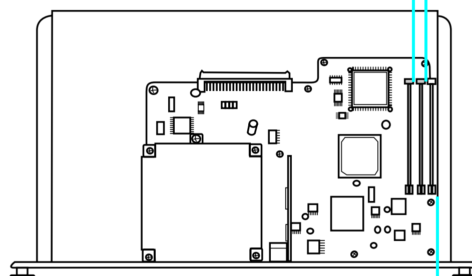
① ネジ（5 本）を外します。
② カバー両端の取っ手を持って手前に引き抜きます。



⚠注意	作業に必要のない場所には触れないようにしてください。感電や火傷の原因となります。

2 増設メモリ用ソケットの位置を確認します。

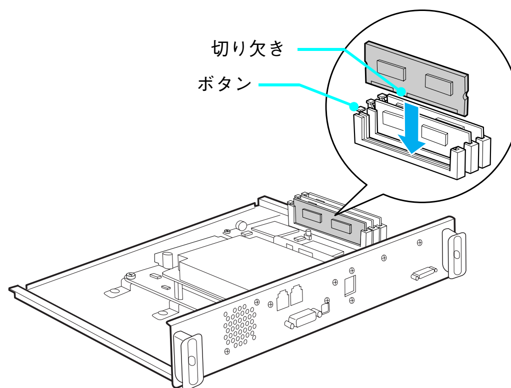
> **参考**
> 最大 576MB まで増設するには、標準搭載メモリ（ベースモデルは 64MB、ADF/FAX モデルは 128MB）を取り外す必要があります。



3 増設メモリを取り付けます。

① 増設メモリの切り欠きがソケット内側の凸部分に合うように取り付け位置を決めて、ソケットの外枠にメモリを差し込みます。

② ソケット端のボタンが飛び出すまで増設メモリの上部両端をゆっくりと均等に押し込みます。

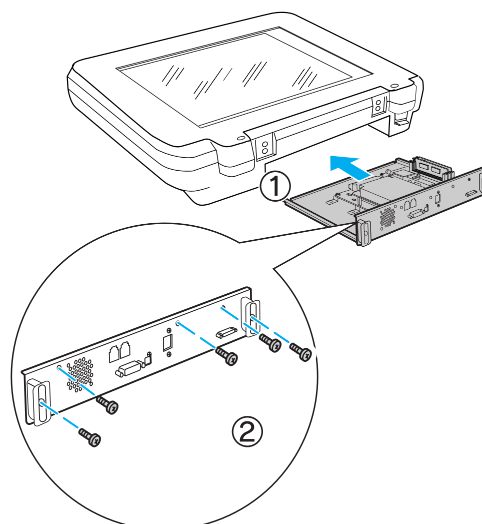


> **！注意**
> - 取り付ける際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
> - 取り付ける方向を逆にしないように注意してください。

4 背面カバーをスキャナ部に差し込んでから、ネジ（5 本）で固定します。

① スキャナ部側のレールに合わせ、静かに差し込みます。

② ネジ（5 本）を取り付けます。



以上で増設メモリの取り付けは終了です。

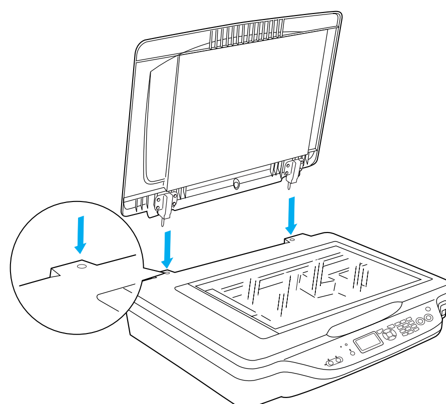
次に付属品を取り付けます。

付属品の組み立て

原稿カバーを取り付けます（ベースモデル）

1 **原稿カバーをスキャナ部に取り付けます。**

スキャナ部の穴に原稿カバーの軸を差し込みます。



以上で原稿カバーの取り付けは終了です。

次に電源コードを取り付けます。
以下のページへ進みます。
☞ 本書 25 ページ「電源コードを取り付けます」

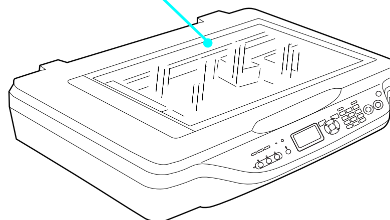
オートドキュメントフィーダを取り付けます（ADF モデル /FAX モデル）

ここでは、オートドキュメントフィーダの取り付け方法を説明します。

> **！注意**
> オートドキュメントフィーダは重く（約 13kg）、取り付け前は不安定ですので、取り付け作業は必ず２人以上で行ってください。１人で行うと、落下によりけがをしたり、オートドキュメントフィーダが破損するおそれがあります。

1 スキャナ部の周囲に人が作業できるスペースを確保します。また、できるだけ低い位置に置きます。

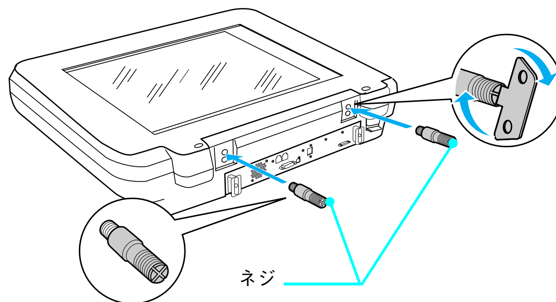
オートドキュメントフィーダは、スキャナの背面側から取り付けますので、背面側に、オートドキュメントフィーダを取り付けるための作業スペースを確保してください。



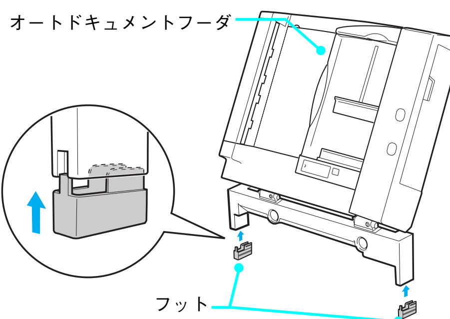
> **！注意**
> オートドキュメントフィーダを取り付けるときは、作業を容易にするため、腰よりも低い安定した位置にスキャナを置き、落下によるけがやオートドキュメントフィーダの破損が起きないように注意して作業してください。

2 付属のネジを、スキャナ背面に取り付けます。

手で締められるところまで締めてから、付属のネジ締め工具を使って固く締めます。

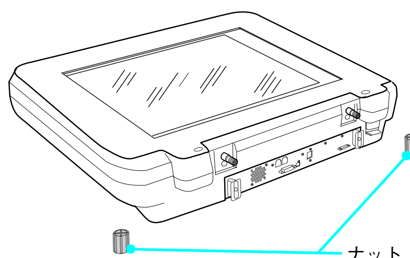


3 付属のフットを、図のようにオートドキュメントフィーダに取り付けます。

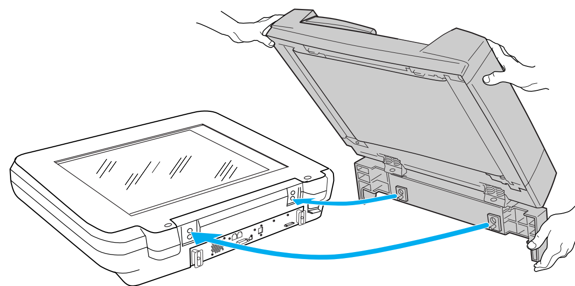


4 付属のナットを、スキャナ部の近く（背面側）に置きます。

このナットは、オートドキュメントフィーダの固定に使用するものです。スキャナ部の背面側に置いておきます。

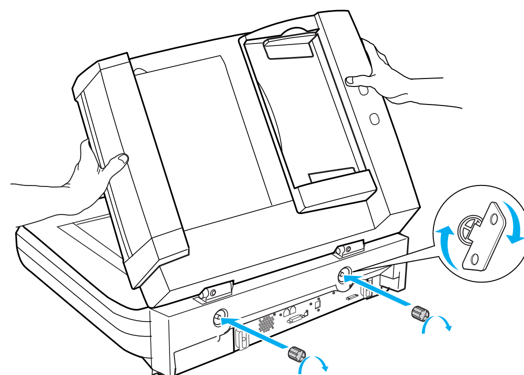


5 **オートドキュメントフィーダを 2 人以上で持ち上げます。スキャナ部背面に取り付けたネジにオートドキュメントフィーダの取り付け穴を差し込みます。**

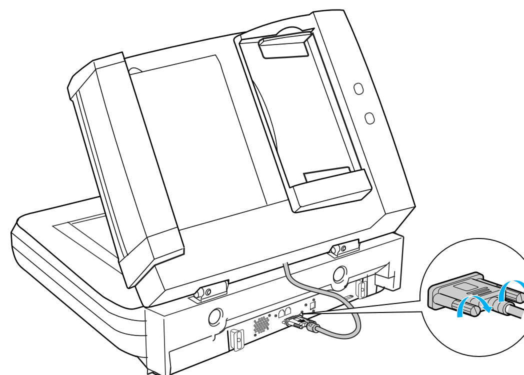


6 **オートドキュメントフィーダが動かないように手で支えたまま、ナットで固定します。**

手で締められるところまで締めてから、付属のネジ締め工具を使って固く締めます。

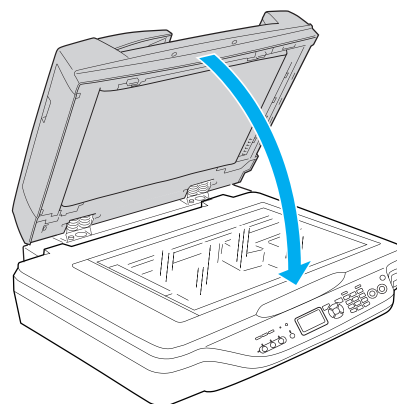


7 **スキャナ部背面のコネクタにオートドキュメントフィーダのコネクタを取り付け、コネクタ両脇のネジで固定します。**



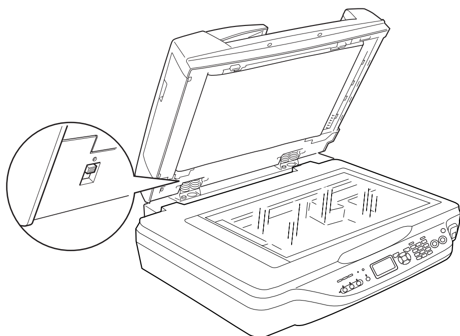
8 **オートドキュメントフィーダを閉じます。**

オートドキュメントフィーダとスキャナが、しっかりと固定されているか確認します。
オートドキュメントフィーダががたつく場合は、ナットを締めしてしっかりと固定します。



参考

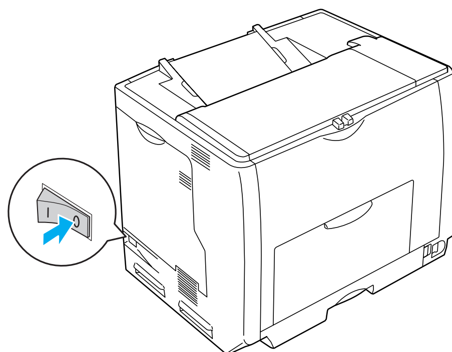
図の位置にあるスイッチには、触らないでください。



以上でオートドキュメントフィーダの取り付けは終了です。
次に電源コードを取り付けます。

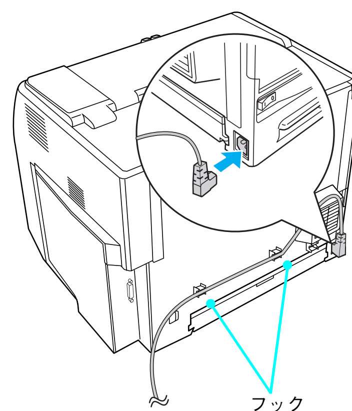
電源コードを取り付けます

1 **本機の電源が切れていることを確認します。**



2 **プリンタ部背面の AC インレットに、電源コードを差し込みます。**

余ったコードは、プリンタ部背面のフックにはめてください。



以上で付属品の取り付けは終了です。

次に各部を設置します。

設置場所の確認と設置

設置に適した場所

本機は、次のような場所に設置してください。

- 本製品の質量 * に十分耐えられる、水平で安定した場所

  * プリンタ部 約 46kg（標準用紙カセット 1 および消耗品を含み、オプションを除く）
  スキャナ部（オートドキュメントフィーダ含む）ADF モデル /FAX モデル：約 27kg、ベースモデル：約 15kg
- 本機底面の脚が確実に載る、本機の底面よりも広い場所
- 風通しの良い場所
- 本機の通風口をふさがない場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- 用紙のセットや印刷した用紙の取り出しが無理なく行える場所
- 付属品の取り付けや消耗品の交換、普段のお手入れに支障のないよう、周囲に十分なスペースを確保できる場所
- 以下の条件を満たす場所

温度	10 ～ 35 ℃
湿度	20 ～ 80%（ただし結露しないこと）
高度	2,500m 以下
水平度	前後左右傾き プリンタ部 1.0 度以下 スキャナ部 5.0 度以下
照度	3000lx 以下

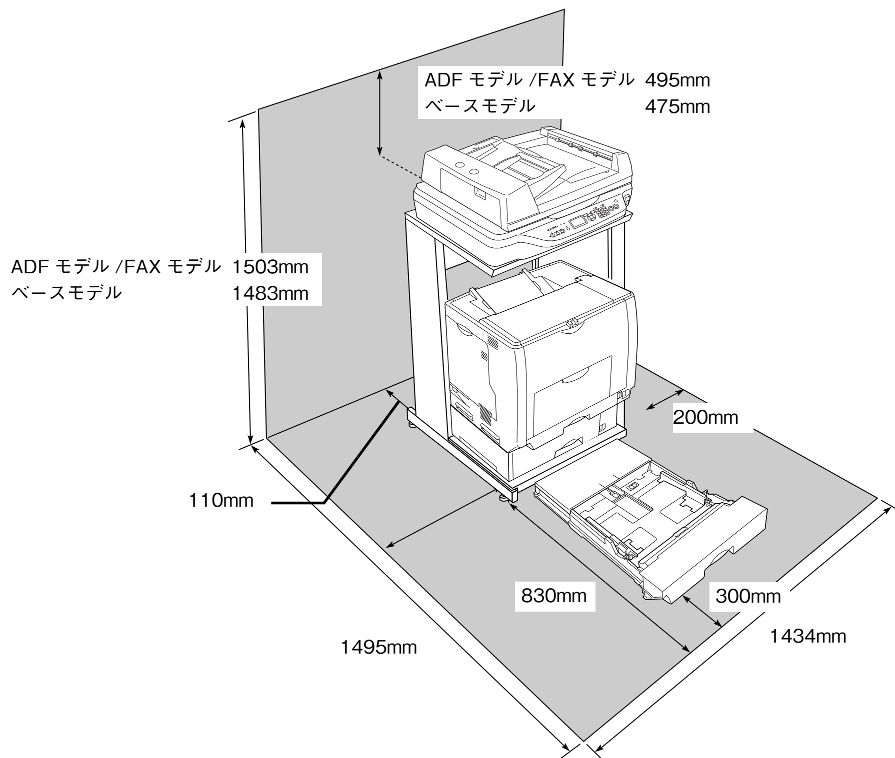


静電気の発生しやすい場所では、市販の静電防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。

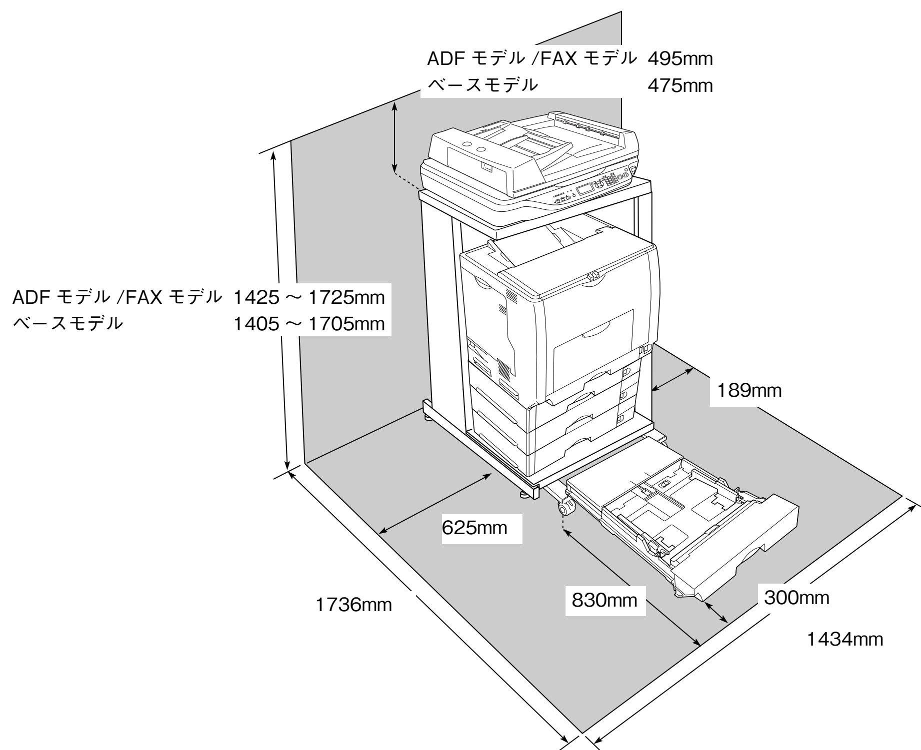
設置スペース

本機の周囲に下図のスペースを確保して設置してください。

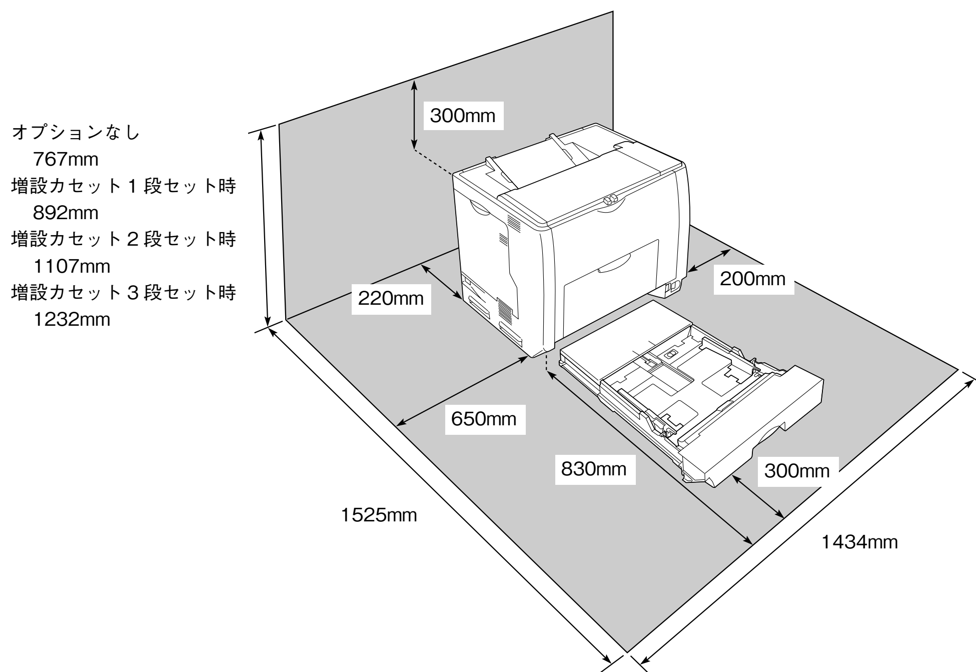
専用ラック（LPMRACK2）を使用する場合



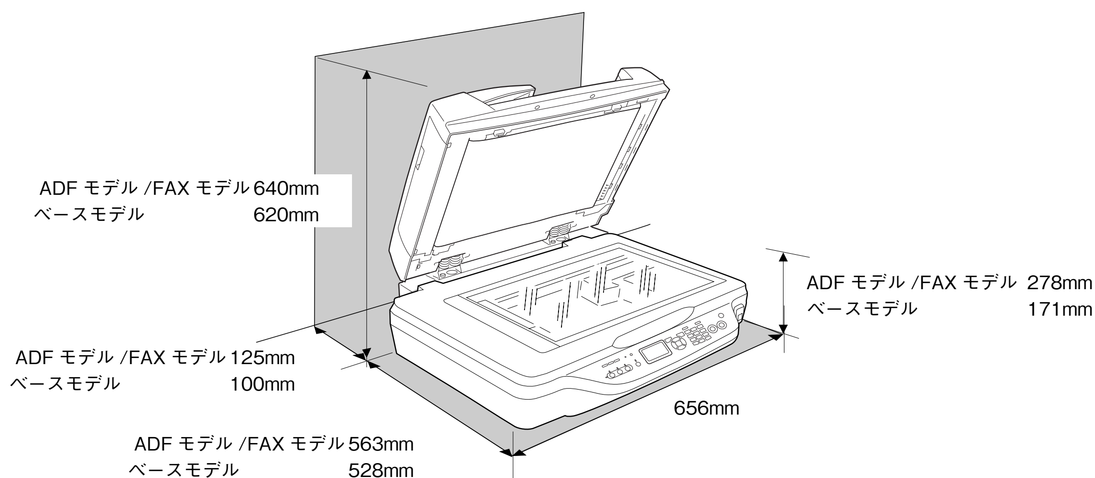
専用スキャナスタンド（CSCBN8A）を使用する場合



プリンタ部を自由に配置する場合



スキャナ部を自由に配置する場合



設置します

設置場所が決定したら、各パーツを設置場所に移動します。

作業時には以下の点に注意してください。

⚠注意

プリンタ部およびオートドキュメントフィーダを持ち上げる際は必ず2人以上で作業を行ってください。
プリンタ部の質量は約46Kg（標準用紙カセット1および消耗品を含み、オプションを除く）/スキャナ部（オートドキュメントフィーダ含む）ADFモデル/FAXモデルで約27kg、ベースモデルで約15kgです。プリンタ部を持ち上げる場合は、必ずプリンタ部正面/背面にある持ち運び用ハンドルと左側下部のくぼみの部分に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタ部の落下によるけがの原因となります。またプリンタ部に無理な力がかかるため、プリンタ部の損傷の原因となります。

各パーツを持ち上げる場合、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。
無理な姿勢で持ち上げると、けがや各パーツの破損の原因となります。

プリンタ部を移動する場合は、前後左右に10度以上傾けないでください。
転倒などによる事故の原因となります。

プリンタ部を増設カセットユニットキャスタ付き（型番：LPA3CZ1CC2）やキャスタ（車輪）付きの台などに載せる場合は、必ずキャスタを固定して、台が動かないようにしてから作業を行ってください。
作業中に台が思わぬ方向に動くと、けがやプリンタの損傷の原因となります。

専用ラック使用時の作業

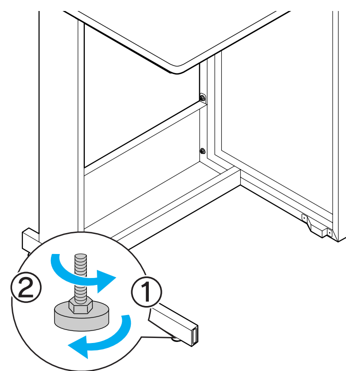
参考

専用ラックの組み立て手順については、専用ラックに添付の『専用ラックの組み立て方法について』をご覧ください。

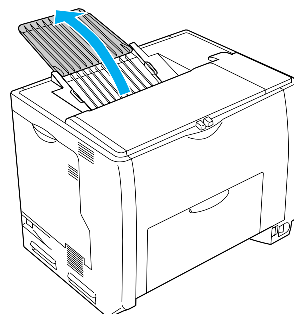
1 専用ラックを設置場所に移動して、固定します。

① ラック下部のナット（4箇所）を回して、床に密着させます。

②上部のナット（4箇所）を回して固定します。



2 プリンタ部の排紙トレイを開きます。



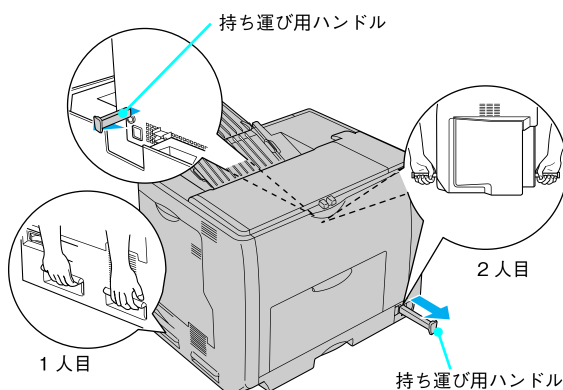
設置作業

1 プリンタ部を移動します。

プリンタ部のみを移動する場合

プリンタ部を移動するときは、持ち運び用ハンドルに貼ってある青いテープをはがし、下図のように持ち運び用ハンドルを引き出した後、必ず2人以上で前面と背面の持ち運び用ハンドルと、左側のくぼみの部分に手をかけて持ち上げて設置場所に置きます。

プリンタ部のみの移動

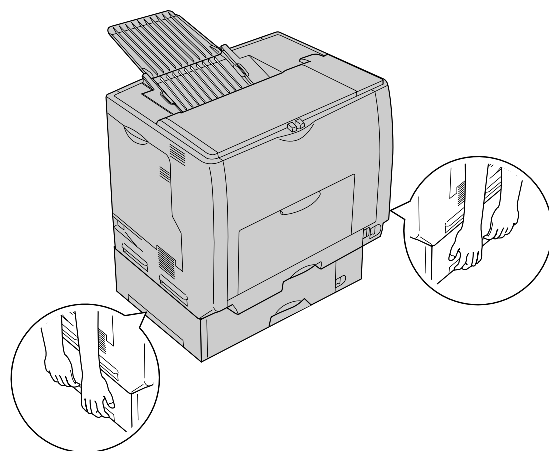


専用ラック(LPMRACK2)と増設カセットユニット1段の組み合わせで使用される場合

増設カセットユニット1段の取っ手に手をかけてプリンタ部を移動します。

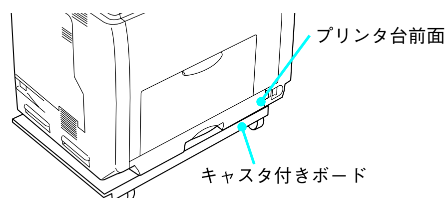
> **!注意**
>
> 増設カセットごとプリンタ部を移動する場合は、プリンタ部をぐらつかせたり、傾けないよう静かに持ち上げてください。

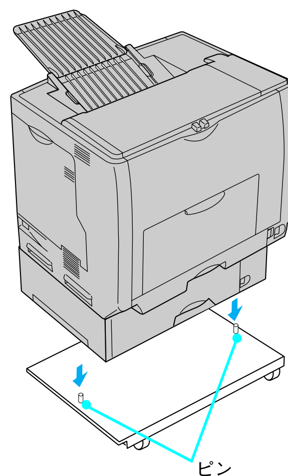
増設カセットユニット装着時の移動



2 キャスタ付きボードにプリンタ部を設置します。

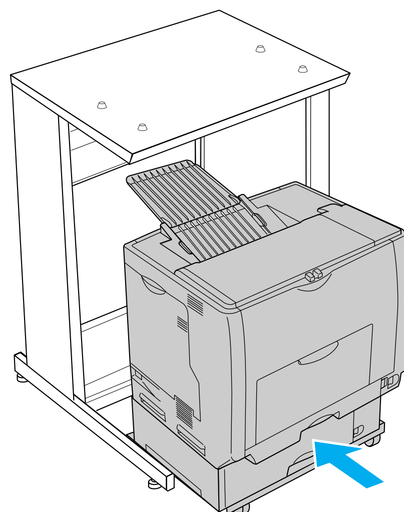
> **⚠注意**
>
> キャスタ付きボードにプリンタを乗せる際に、ボードに貼付されている前後シールとプリンタの向きを合わせてください。

> **参考**
>
> プリンタ台やキャスタ付きボードにプリンタ本体のみを直接設置する場合は、プリンタ本体の底面の前面部とプリンタ台 / キャスタ付きボードの前面部と合わせてから設置してください。
>
> 
>



3 プリンタ部を設置したキャスタ付きボードをラックにセットします。

専用ラックを使用する場合は、専用ラックのキャスタ付きボードにプリンタ部を乗せてから（ピンがプリンタ部の底にしっかりと固定されるように）、キャスタ付きボードをラックにセットします。

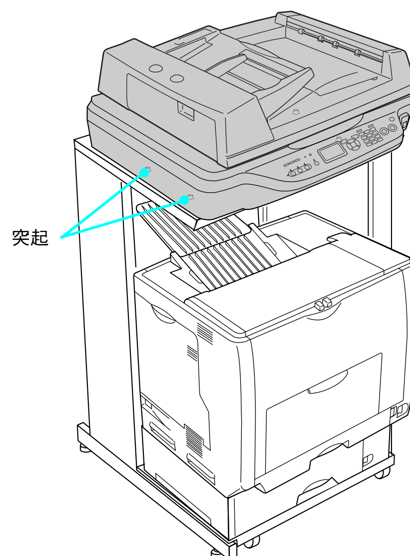


> **！注意**
> 電源コードを踏んだり、プリンタ部の下にはさまないように注意してください。

> **⚠注意**
> - キャスタ付きボードをセットする際に、プリンタとラックの間に指を挟まないように注意してください。
> - 安全のためキャスタは、必ずロックしてください。

4 スキャナ部を設置します。

専用ラック（LPMRACK2）を使用する場合は、天板上の突起がスキャナ部のへこみにはまるように設置します。



以上で設置は終了です。
次に専用ケーブルを接続して電源を投入し、消耗品を取り付けます。

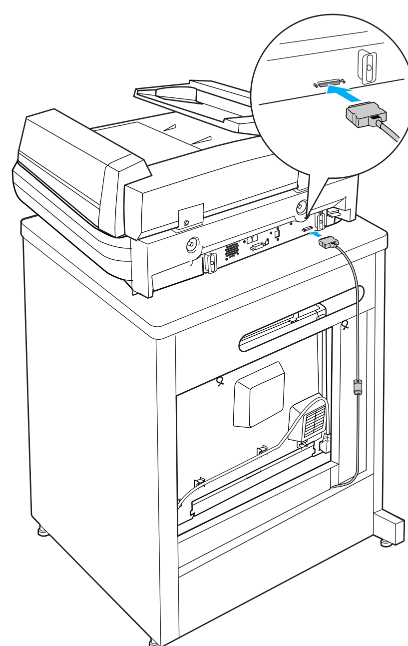
専用ケーブルおよび電源の接続と消耗品の取り付け

専用ケーブルの接続、電源への接続および感光体ユニット、廃トナーボックス / フィルタ、トナーカートリッジを取り付けるまでの作業を説明します。FAX モデルの場合は、トナーカートリッジを取り付けた後に日付時刻設定もします。

専用ケーブルを接続します

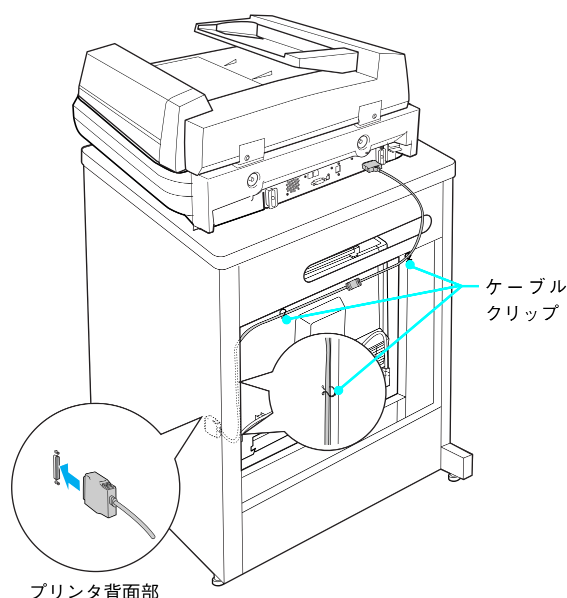
1 スキャナ部背面のコネクタに専用ケーブルを接続します。

コネクタの取り付け方向に注意して（白いシールが貼られている面が上）、カチッと音がするまで差し込みます。



2 プリンタ部背面のコネクタに専用ケーブルのもう片方を接続します。

手順 1 同様にコネクタの取り付け方向に注意して(白いシールが貼られている面がプリンタの外側に向くように)、カチッと音がするまで差し込みます。
接続したケーブルは、ケーブルクリップ（4 箇所）に通して固定します。

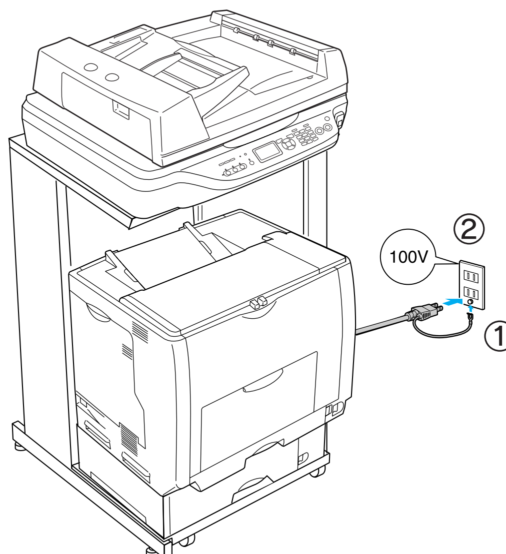


以上で専用ケーブルの接続は終了です。

次に電源に接続します。

電源に接続します

1 **① AC100V のコンセントにアース線を接続してから、②プラグを差し込みます。**



> ⚠警告
> **漏電による事故防止について**
> 本機の電源コードには、アース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電した場合に、電気を逃がし感電事故を防止することができます。コンセントにアースの接続端子がない場合は、アース端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更は、お近くの電気工事店にご相談ください。

> ⚠注意
> - アース線を電源コンセントに差し込まないでください。
> - アース線は、接続端子がある場合に接続してください。

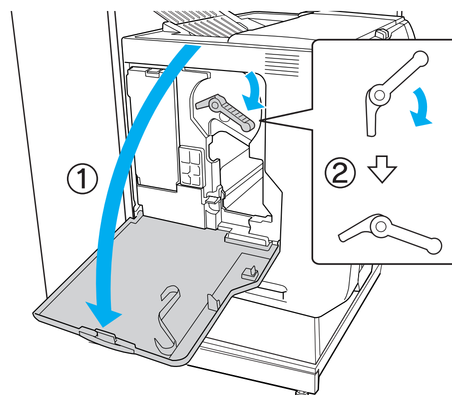
以上で電源の接続は終了です。

次に消耗品を取り付けます。

消耗品を取り付けます

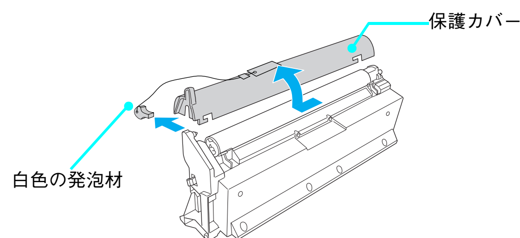
感光体ユニットを取り付けます

1 **①Dカバーを開けて、②感光体ロックレバーを解除位置まで回します。**



2 **感光体ユニットを梱包箱から取り出し、保護材を取り外します。**

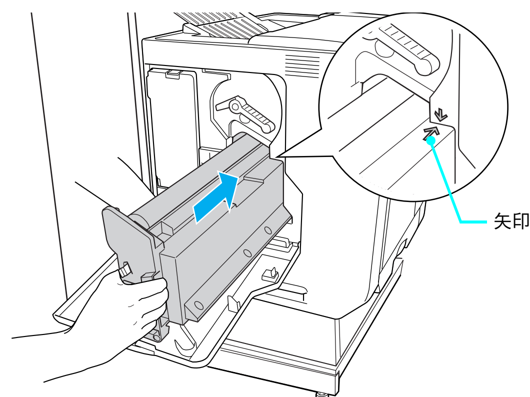
①白色の発砲材を取り外して、②保護カバーを横にずらしてからゆっくり上に引き抜くようにして取り外します。



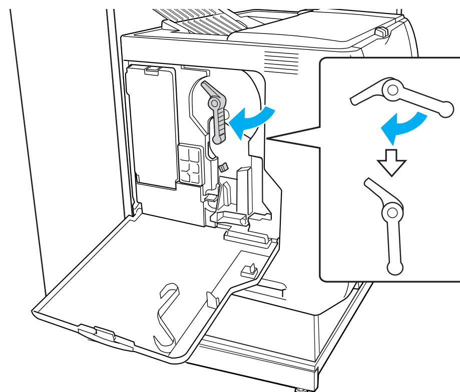
!注意

- 感光体（青色）部分には絶対手を触れないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。また、感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の灯りの下でも3分以上放置しないでください。感光体ユニットを本機に装着せずに放置する場合は、保護シートを取り付け、光が当たらないように専用の遮光袋に入れてください。

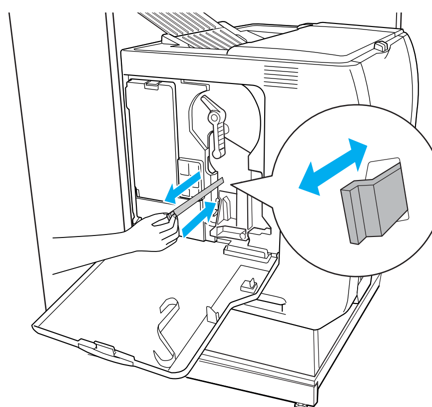
3 **感光体ユニットに表示されている矢印とプリンタ部の矢印を合わせて、ゆっくりと差し込みます。**



4 感光体ロックレバーを固定位置まで回します。



5 クリーニングノブ A をゆっくり 2、3 回手前にいっぱいまで引き出して、元の位置に戻します。

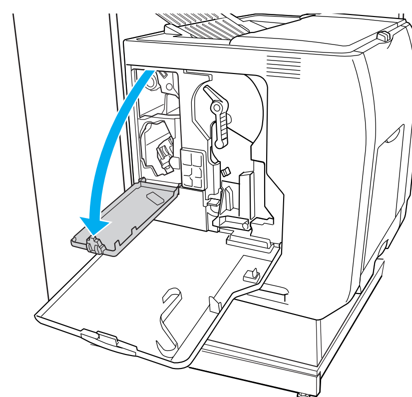


以上で感光体ユニットの取り付けは終了です。

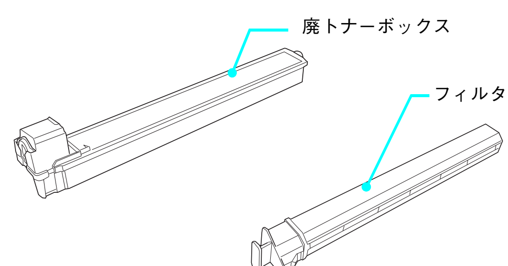
次に廃トナーボックスとフィルタを取り付けます。

廃トナーボックス / フィルタを取り付けます

1 E カバーを開けます。

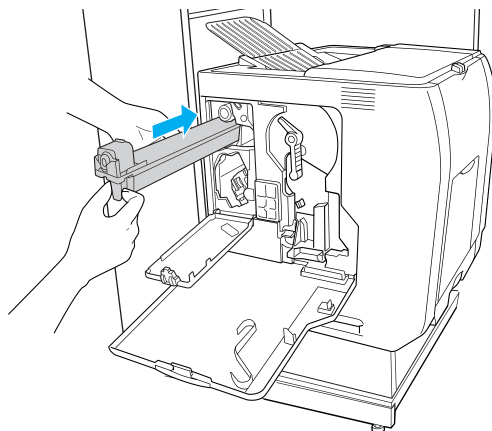


2 廃トナーボックスとフィルタを梱包箱から取り出します。



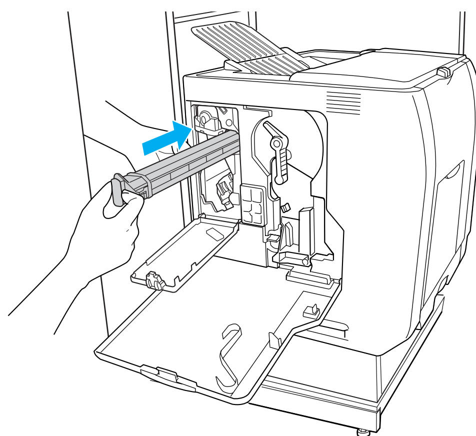
3 廃トナーボックスをゆっくり差し込みます。

廃トナーボックスに表示されている矢印を上向きにして、奥まで差し込みます。

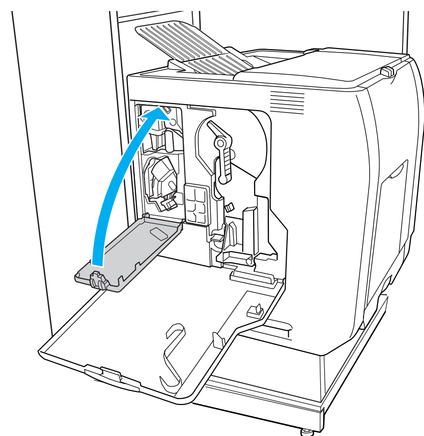


4 フィルタをゆっくり差し込みます。

フィルタに表示されている矢印を上向きにして、奥まで差し込みます。



5 E カバーを閉じます。

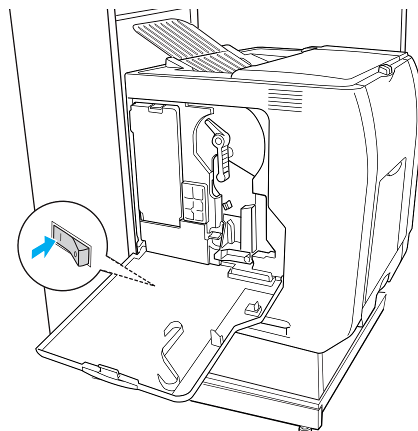


以上で廃トナーボックスとフィルタの取り付けは終了です。

次にトナーカートリッジを取り付けます。

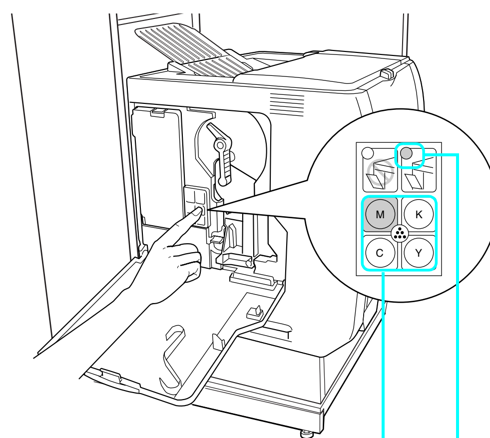
トナーカートリッジを取り付けます

1. **本機の電源を入れます。**

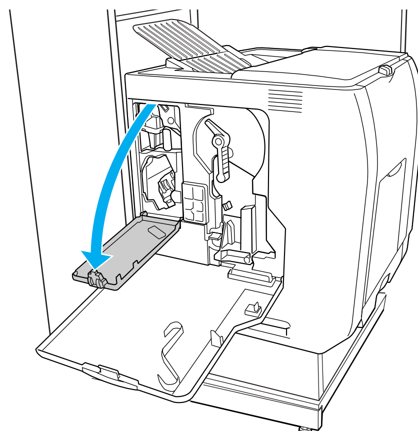


2. **セットするトナーカートリッジのボタンを押して、緑色の交換ランプが点灯するまで待ちます。**

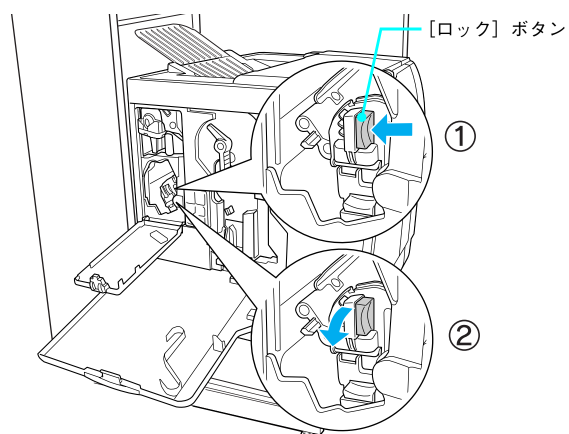
M：マゼンタ
K：ブラック
C：シアン
Y：イエロー



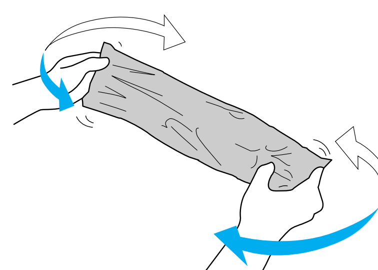
3. **E カバーを開けます。**



4 ①灰色の［ロック］ボタンをつまんで、②トナーカートリッジのセットカバーを手前に開けます。



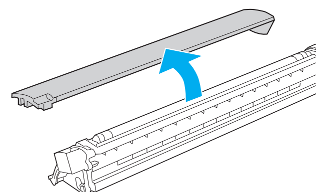
5 トナーカートリッジを梱包箱から取り出して、図のように左右に傾けて軽く 7 ～ 8 回振ります。



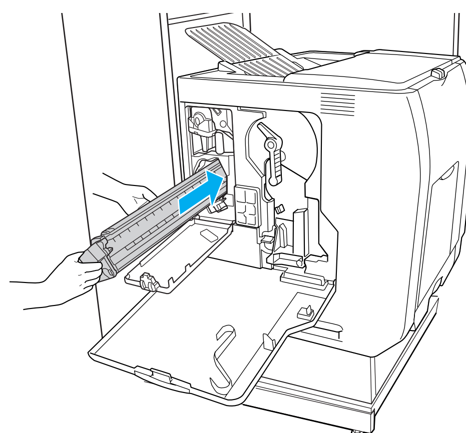
参考

トナーカートリッジの入っていた梱包箱や袋は、使用済みのトナーカートリッジを回収する際に必要になります。次回の交換時まで大切に保管してください。

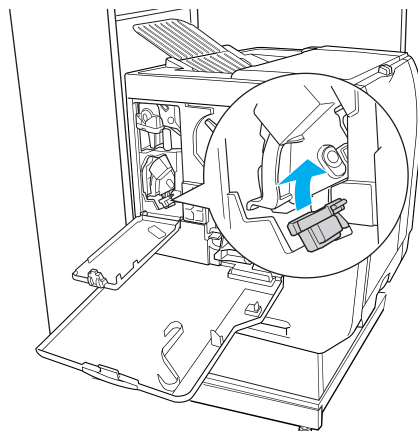
6 トナーカートリッジを袋から取り出し、保護カバーを取り外します。



7 トナーカートリッジに表示されている矢印を装着口に向け、装着口とトナーカートリッジの形状を確認して、ゆっくり差し込みます。

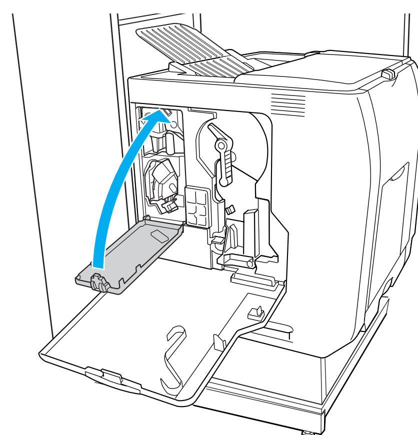


8 トナーカートリッジのセットカバーをカチッと音がするまで閉じます。

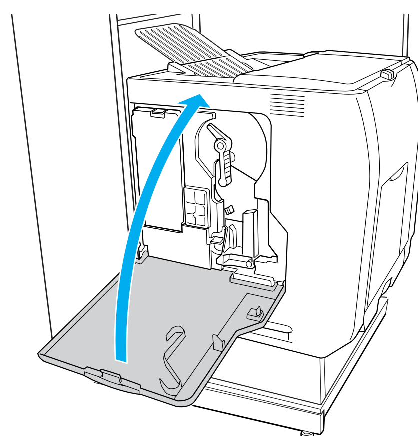


9 E カバーを閉じます。

手順 2 へ戻ります。
M：マゼンタ
K：ブラック
C：シアン
Y：イエロー
すべてのトナーカートリッジを取り付けたら、手順 10 へ進みます。



10 D カバーを閉じます。



以上でトナーカートリッジの取り付けは終了です。

FAX モデルの場合

操作パネルに［日付時刻設定］メニューが表示されますので、次項を参照して設定を行います。

ベースモデル /ADF モデルの場合

以下のページに進みます。
本書 41 ページ「用紙のセット」

日付と時刻を設定します（FAX モデル）

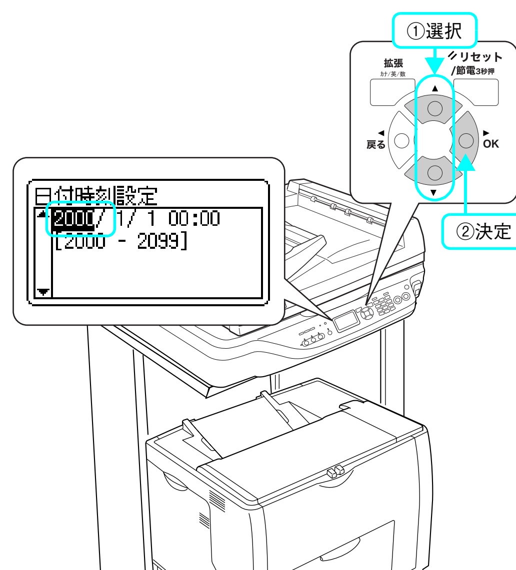
［日付時刻設定］メニューで、西暦、日付、時刻を設定します。



日付時刻設定は、［各種設定］ボタンを押して表示される［設定モード］で変更することもできます。詳細は下記を参照してください。
『活用ガイド』（紙マニュアル）-「操作パネルによる設定 / 確認」

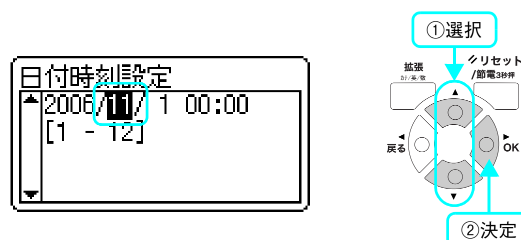
1 **［▲］または［▼］ボタンを押して「西暦」を合わせ、［►］ボタンを押して決定します。**

数字は、テンキーを使用して入力することもできます。



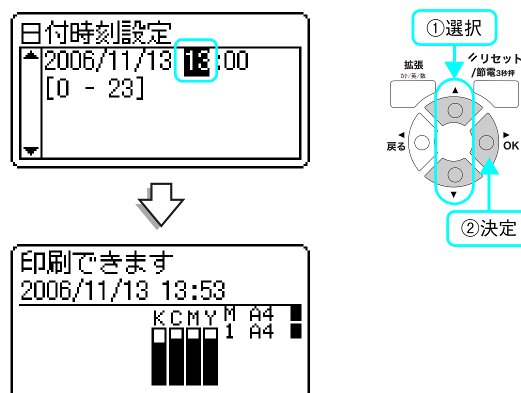
2 **［▲］または［▼］ボタンを押して「月」を合わせ、［►］ボタンを押します。**

同様に「日」を設定します。



3 **［▲］または［▼］ボタンを押して「時」を合わせ、［►］ボタンを押します。**

同様に「分」を設定します。



プリントモードの画面が表示されたら、設定は終了です。

次に用紙をセットします。以下のページに進みます。
本書 41 ページ「用紙のセット」

用紙のセット

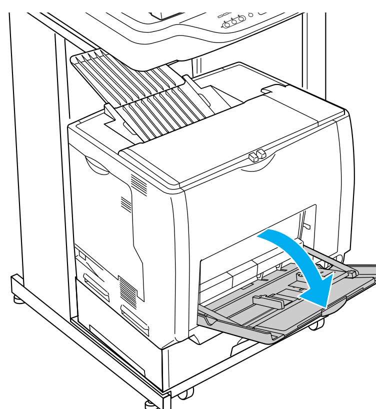
ここでは本機に標準装備されている MP トレイと用紙カセット、オプションの増設カセットにコピー機能やファクス機能で使用できる普通紙をセットする方法を説明します。コンピュータから印刷する場合は、普通紙以外の用紙も使用できます。普通紙以外の用紙のセット方法は、以下を参照してください。

☞『ソフトウェア機能ガイド』（PDF マニュアル）-「使用可能な印刷用紙とセット方法」

MP トレイに用紙をセットします

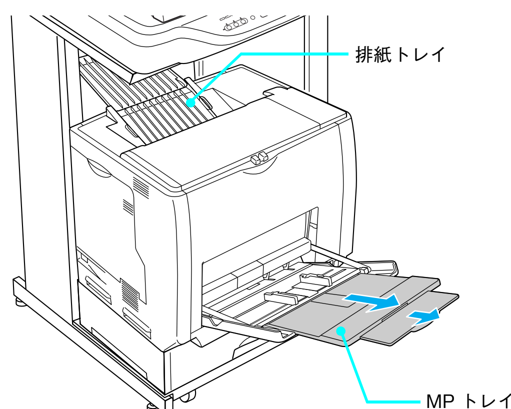
MP トレイは、本機で印刷可能なすべての用紙をセットできる MP トレイ（マルチパーパストレイ）です。

1 **MP トレイを開きます。**

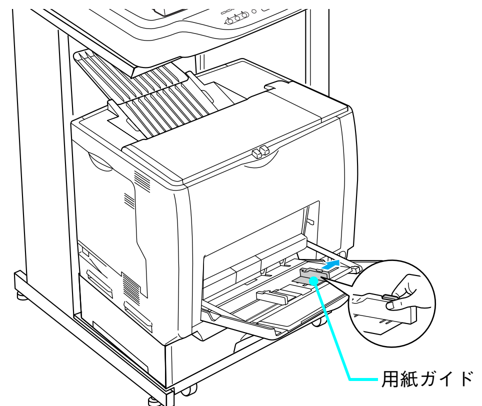


2 **A3、B4、Ledger（B）、Legal（LGL）サイズの用紙をセットする場合は、MP トレイの先端を引き延ばします。**

排紙トレイが開いていない場合は、開いてください。

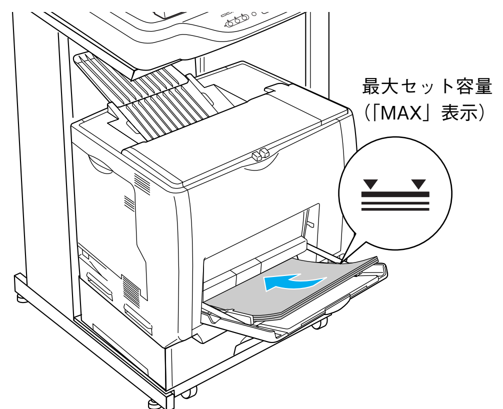


3 用紙ガイドのツマミ部分をつまんだまま外側へずらします。



4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にして用紙をセットします。

- セットする方向は下表を参照してください。
- 用紙は最大150枚(EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙64g/m^2)までセットできます。用紙ガイド内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

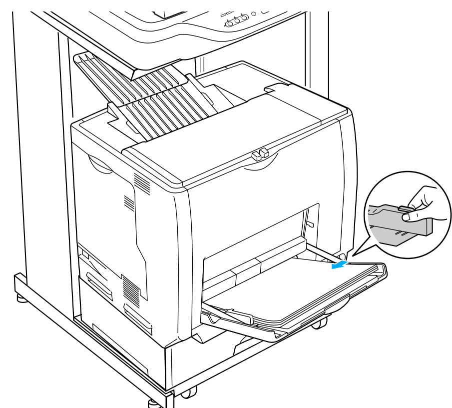


	MPトレイ通常時	MPトレイ引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5	−
用紙を縦長にセット	A5、はがき	A3、B4

> ⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

5 用紙ガイドのツマミをつまんで用紙の端に合わせます。

> **!注意**
> 用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりや用紙サイズ関連のエラーが発生する可能性があります。

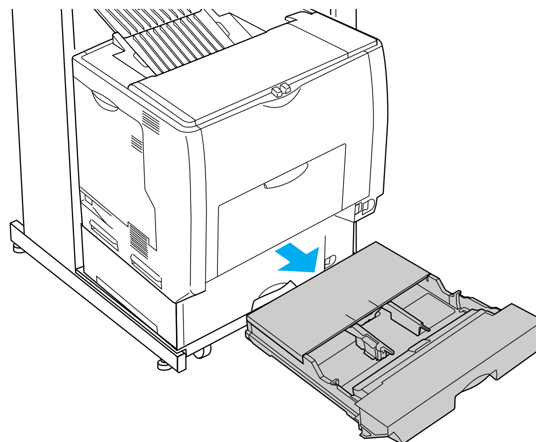


以上でMPトレイへの用紙のセットは終了です。

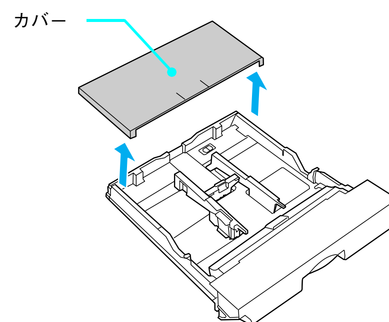
次に標準の用紙カセットに用紙をセットします。

用紙カセット(標準カセット 1)に用紙をセットします

1 **用紙カセットを引き出します。**

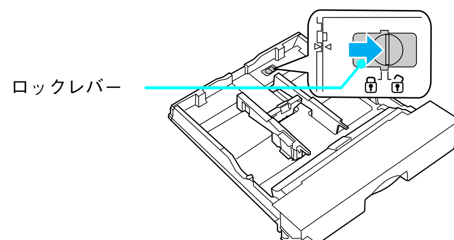


2 **用紙カセットのカバー両端を持ち、取り外します。**

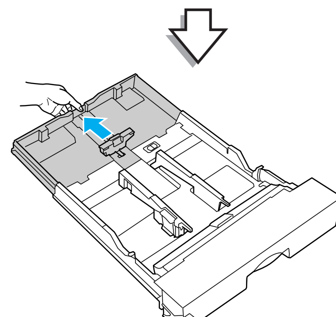


3 **A3、B4 サイズの用紙をセットする場合は、用紙カセットの後部を引き出します。**

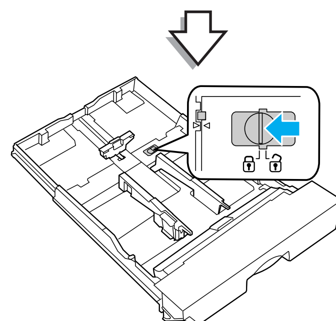
① 用紙カセットのロックレバーを図の位置まで移動し、ロックを解除します。



② 用紙カセットの後部を止まるところまで引き出します。



③ ロックレバーを図の位置まで移動してロックします。用紙をセットする前に、ロックレバーが正しい位置にロックされていることを確認してください。



参考

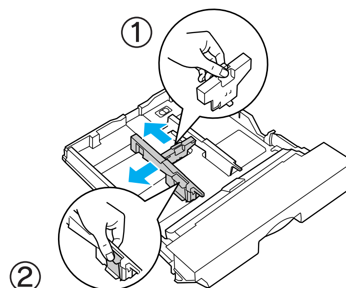
ロックレバーをロックしないと、正常に印刷できません。

4 用紙ガイド（縦）/（横）をセットする用紙のサイズに合わせ移動します。

① 用紙ガイド（縦）のツマミをつまんで、セットする用紙サイズに合わせます。

② 用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙がセットできるように広げます。

用紙のセット方向は、用紙サイズによって異なります。下表を参照して、用紙ガイド（縦）/（横）を、用紙がセットできるように移動します。

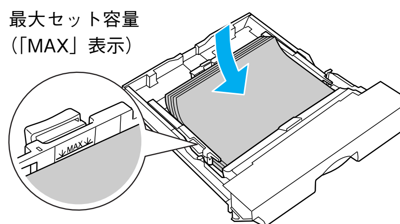


	用紙カセット通常時	用紙カセット引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5	－
用紙を縦長にセット	－	A3、B4

⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

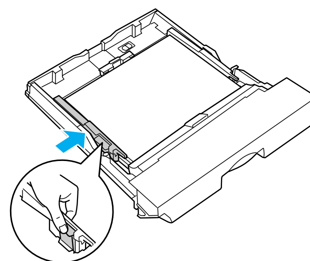
5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットします。

- セットする方向は手順4の表を参照してください。
- 用紙は最大250枚(EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙 64g/ ㎡）までセットできます。用紙ガイド(横)内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。



6 用紙ガイド（横）を用紙の端に合わせます。

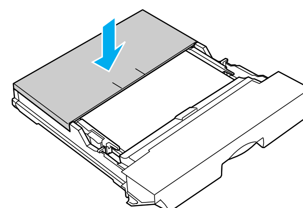
用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙サイズに合わせます。



参考

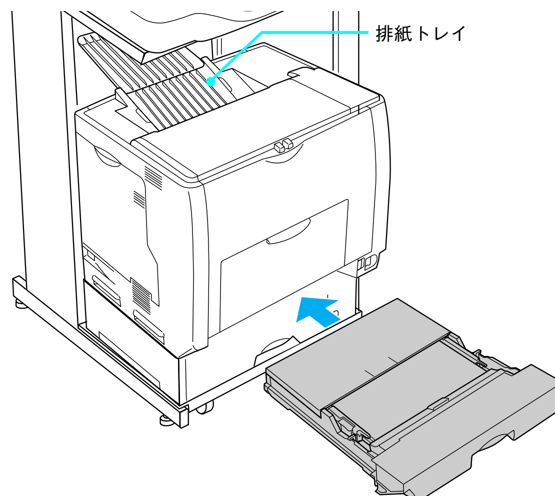
用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、給紙に失敗して、紙詰まりや用紙関連のエラーが発生する場合があります。

7 用紙カセットのカバーを取り付けます。



8 用紙カセットを本機にセットします。

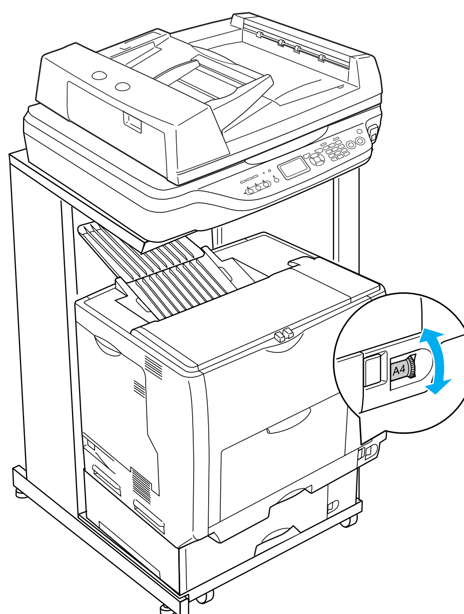
A3、B4 サイズをセットしたときは、排紙トレイが開いているか確認してください。



9 ［用紙サイズ設定］ダイヤルを、セットした用紙サイズに設定します。

！注意

- コピーまたは印刷中は［用紙サイズ設定］ダイヤルを操作しないでください。
- ［用紙サイズ設定］ダイヤルは、セットした用紙サイズに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。



以上で標準用紙カセット 1 への用紙のセットは終了です。

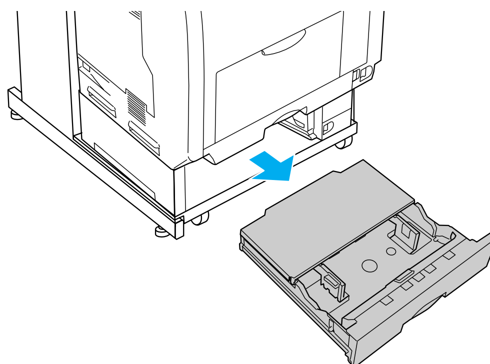
- オプションの増設カセットに用紙をセットする場合は、以下のページに進んでください。
  本書 46 ページ「用紙カセット（オプションカセット 2 ～ 4）に用紙をセットします」
- FAX モデルをお使いで、オプションの増設カセットを取り付けていないときは、ファクス機能を使用するための基本設定をします。以下のページに進んでください。
  本書 51 ページ「ファクス機能の初期設定（FAX モデル）」
- ベースモデル /ADF モデルをお使いで、オプションの増設カセットを取り付けていないときは、ステータスシート（簡易版）を印刷して、本機が正しく動作するか確認します。以下のページに進んでください。
  本書 56 ページ「動作確認」

用紙カセット（オプションカセット 2 ～ 4）に用紙をセットします

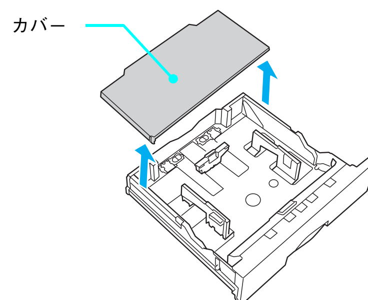
本機には標準装備されている用紙カセット 1 のほかに用紙カセットを 3 段まで増設できます。

ここでは、プリンタのすぐ下に装着した増設カセットユニット（用紙カセット 2）を例に説明します。用紙カセット 3 ～ 4 の場合も、同様の手順で用紙をセットしてください。

1 **用紙カセットを増設カセットユニットから引き出します。**

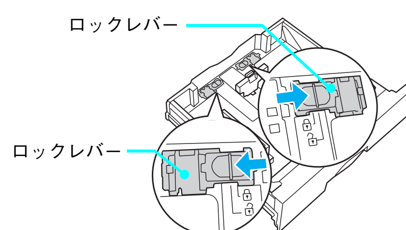


2 **用紙カセットのカバー両端を持ち、取り外します。**

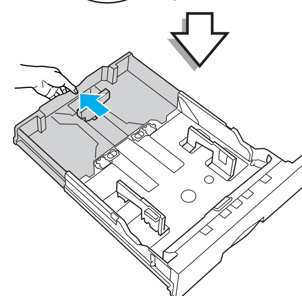


3 **A3、B4 サイズの用紙をセットする場合は、用紙カセットの後部を引き出します。**

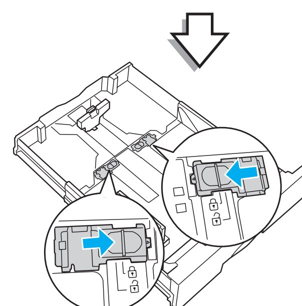
①用紙カセットのロックレバー（2 箇所）を図の位置まで移動し、ロックを解除します。



② 用紙カセットの後部を止まるところまで引き出します。



③ ロックレバー（2 箇所）を図の位置まで移動してロックします。用紙をセットする前に、ロックレバーが正しい位置にロックされていることを確認してください。



参考

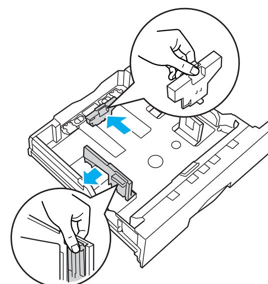
ロックレバーをロックしないと、正常に印刷できません。

4 用紙ガイド（縦）/（横）をセットする用紙のサイズに合わせ移動します。

① 用紙ガイド（縦）のツマミをつまんで、セットする用紙サイズに合わせます。

② 用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙がセットできるように広げます。

用紙のセット方向は、用紙サイズによって異なります。下表を参照して、用紙ガイド（縦）/（横）を、用紙がセットできるように移動します。

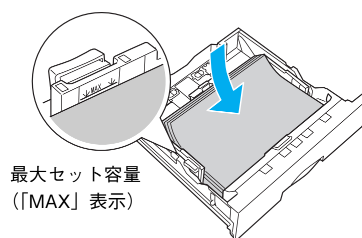


	用紙カセット通常時	用紙カセット引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5	－
用紙を縦長にセット	－	A3、B4

⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

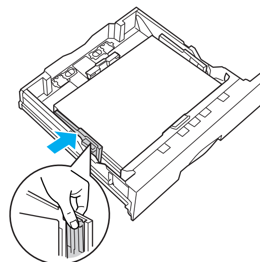
5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットします。

- セットする方向は手順4の表を参照してください。
- 用紙は最大500枚(EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙 64g/m^2）までセットできます。用紙ガイド(横)内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。



6 用紙ガイド（横）を用紙の端に合わせます。

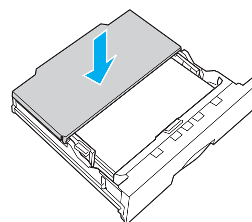
用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙サイズに合わせます。



!注意

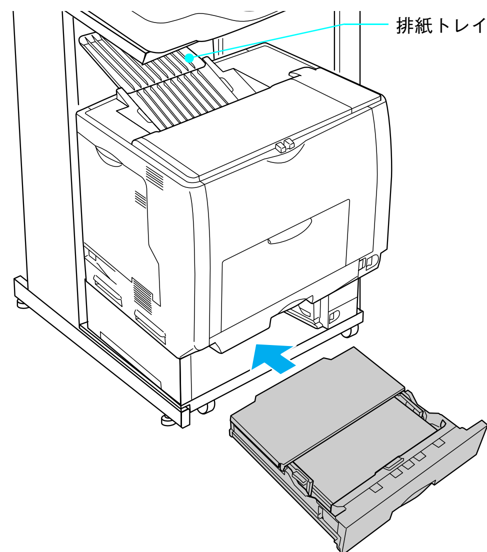
用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、給紙に失敗して、紙詰まりや用紙関連のエラーが発生する場合があります。

7 用紙カセットのカバーを取り付けます。



8 用紙カセットを増設カセットユニットにセットします。

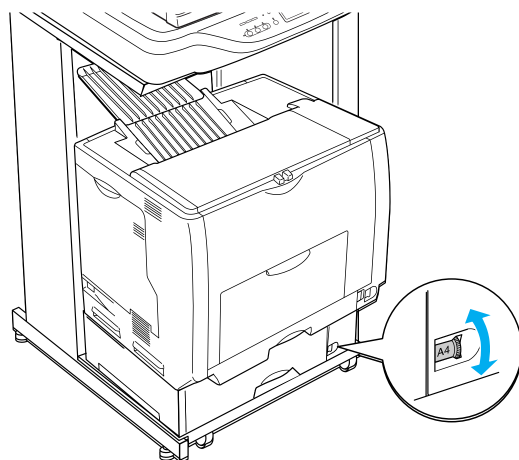
A3、B4 サイズの用紙をセットしたときは、排紙トレイが開いているか確認してください。



9 ［用紙サイズ設定］ダイヤルを、セットした用紙サイズに設定します。

！注意

- コピーまたは印刷中は［用紙サイズ設定］ダイヤルを操作しないでください。
- ［用紙サイズ設定］ダイヤルは、セットした用紙サイズに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。



以上でオプション用紙カセット（2 ～ 4）への用紙のセットは終了です。

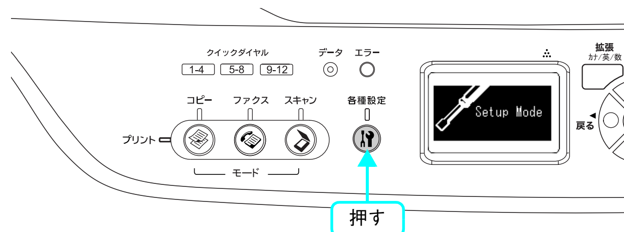
- FAX モデルの場合は、ファクス機能を使用するための基本設定をします。以下のページに進んでください。
  ☞ 本書 51 ページ「ファクス機能の初期設定（FAX モデル）」
- ベースモデル /ADF モデルの場合は、ステータスシート（簡易版）を印刷して、本機が正しく動作するか確認します。以下のページに進んでください。
  ☞ 本書 56 ページ「動作確認」

操作パネルで用紙サイズを設定します（MP トレイのみ）

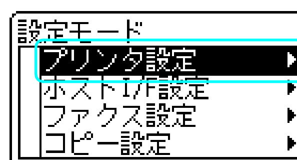
MP トレイにセットした用紙のサイズを変更した（初期設定は A4）場合は、次の手順に従って用紙サイズを設定してください。用紙サイズを正しく設定しないと思うようにコピーや印刷ができなかったり、エラーが発生します。

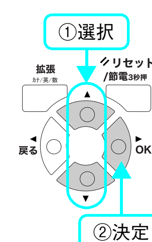
1 **操作パネルの[各種設定]ボタンを押します。**

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。

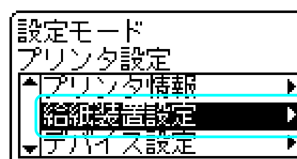


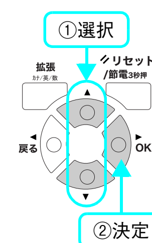
2 **［▼］または［▲］ボタンを押して［プリンタ設定］を選択し、［▶］ボタンを押します。**



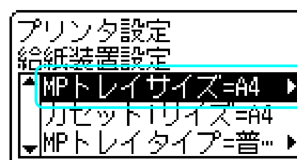


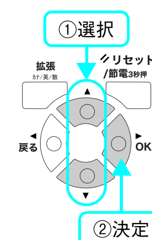
3 **［▼］または［▲］ボタンを押して［給紙装置設定］を選択し、［▶］ボタンを押します。**



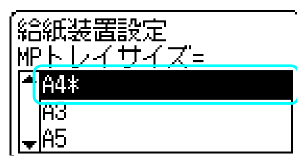


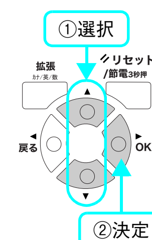
4 **［▼］または［▲］ボタンを押して［MP トレイサイズ］を選択し、［▶］ボタンを押します。**





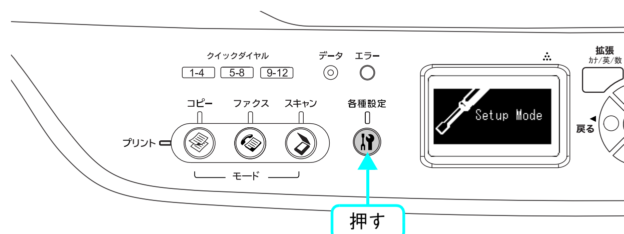
5 **［▼］または［▲］ボタンを押して MP トレイにセットしてある用紙のサイズを選択し、［▶］ボタンを押します。**





6 操作パネルの［各種設定］ボタンを押します。

操作パネルの表示が［プリントモード］になります。



以上で用紙サイズ設定の手順は終了です。

MP トレイと用紙カセットへの用紙のセットが終了したら、次のページへ進みます。

- FAX モデルの場合は、ファクス機能を使用するための基本設定をします。以下のページに進んでください。
  ☞ 本書 51 ページ「ファクス機能の初期設定（FAX モデル）」
- ベースモデル /ADF モデルの場合は、ステータスシート（簡易版）を印刷して、本機が正しく動作するか確認します。以下のページに進んでください。
  ☞ 本書 56 ページ「動作確認」

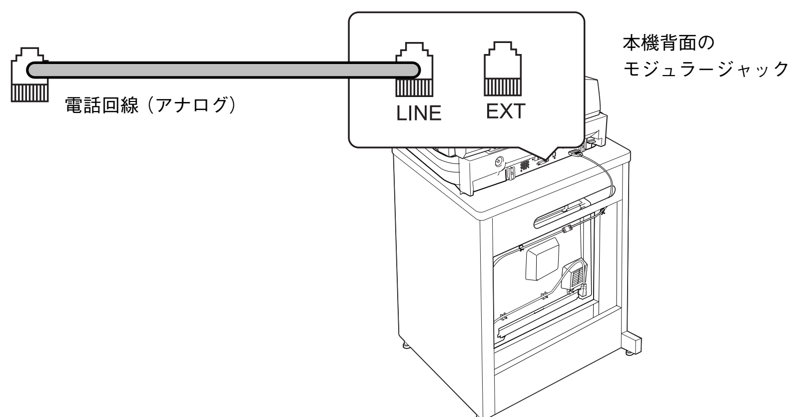
ファクス機能の初期設定(FAX モデル)

ここでは、ファクスを送受信するための初期設定の手順を説明します。

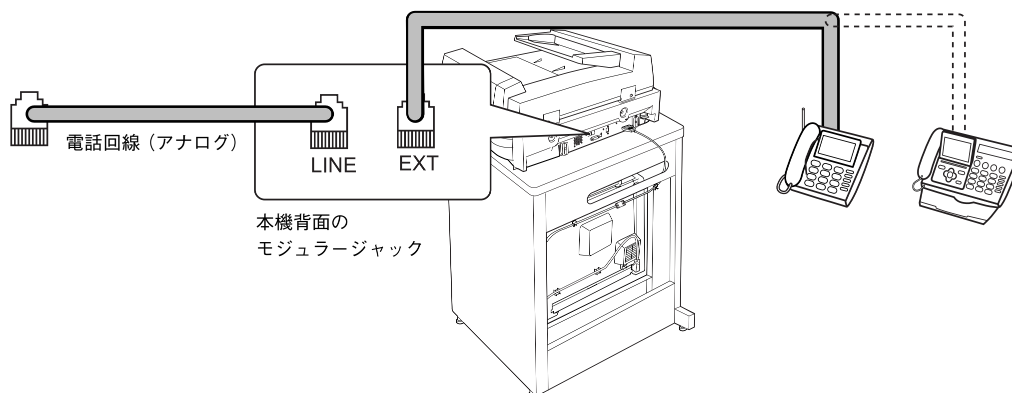
> **! 注意**
>
> **電話回線との接続は、次の点に注意してください。**
> - 接続できる電話回線は、次の通りです。
>   - 加入電話回線(PSTN)
>   - 自営構内回線(PBX)
> - 次の電話回線では正常に動作しない可能性があります。
>   - 上記の回線以外(NCC 回線、デジタル回線、F ネットなど)
>   - 加入電話回線との間に TA、スプリッタ、ADSL ルータなどの各種アダプタを接続した場合
>   - 多機能電話機の場合(留守番電話、外付け電話 /FAX 自動切換えなど)
> - 次の電話回線では使用できません。
>   - ADSL や光ファイバー等の IP 電話接続
>   - 各種サービス(キャッチホンなど)の提供を受けている電話回線
>   - その他、電話回線の状況や地域などの条件により、ご使用になれない場合があります
> - 一般の電話機は、市販の電話台などに置いてください。スキャナ部や、プリンタ部の上には置かないでください。

電話回線を接続します

- 電話回線を LINE と刻印されたモジュラージャックに接続します。



- 電話回線を本機および電話機で兼用する場合、電話機は EXT と刻印されたモジュラージャックに接続します。



ISDN 回線、ADSL 回線、自営回線(内線電話)での接続イメージについては、エプソンのホームページを参照してください。
< http://www.epson.jp/ >

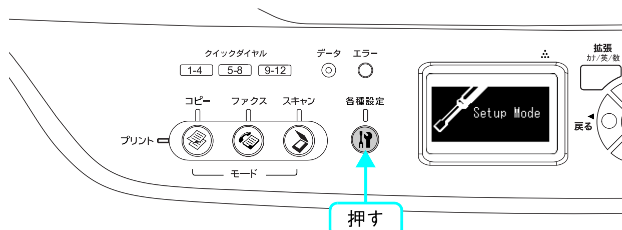
回線の設定を行います

ファクス通信を行うための回線の設定を行います。

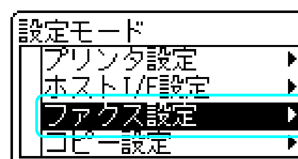
対応回線の設定

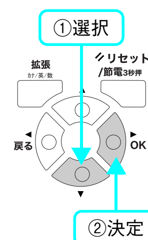
1 **操作パネルの[各種設定]ボタンを押します。**

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。

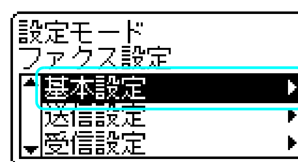


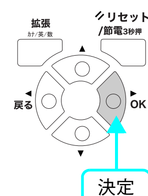
2 **［▼］ボタンを押して［ファクス設定］を選択し、［▶］ボタンを押します。**



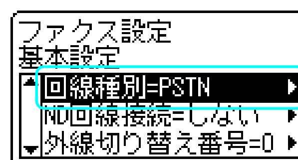


3 **［基本設定］が選択されていることを確認して、［▶］ボタンを押します。**





4 **[回線種別＝XXXX]（XXXXは設定されている回線種別）を確認します。**

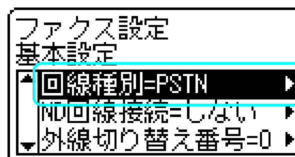


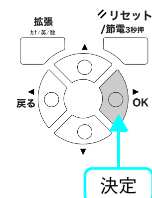
PSTN	Public Switched Telephone Network の略。 ご利用の環境に電話交換機などがない場合は、こちらを選択します。
PBX	Private Branch Exchange の略。 ご利用の環境に電話交換機などがあり、内線電話システムなどを用いている場合はこちらを選択します。

変更が必要な場合は、次の手順 5 に進みます。
変更の必要がない場合は、以下のページに進みます。
本書 54 ページ「ダイヤル種別の設定」

5 **［▶］ボタンを押します。**

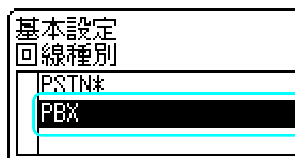
ここでは、PSTN から PBX へ設定変更を行う場合を例に説明します。

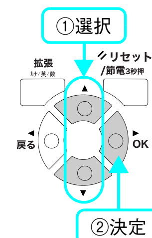




6 **［▲］または［▼］ボタンを押して、［PBX］を選択し、［▶］ボタンを押します。**

［▶］ボタンの押下で、設定が有効になります。





以上で回線種別の設定は終了です。

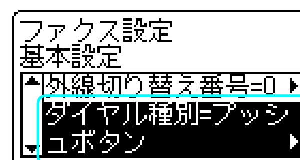
次にダイヤル種別の設定を行います。

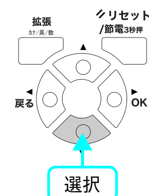
ダイヤル種別の設定

1 **［▼］ボタンを押して［ダイヤル種別＝XXXX］（XXXX は設定されているダイヤル種別）を選択します。**

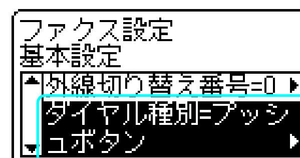
上記の手順通りにならない場合は、対応回線の設定からやり直してください。

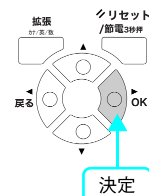
本書 52 ページ「回線の設定を行います」





2 **［ダイヤル種別＝ XXXX］（XXXX は設定されているダイヤル種別）を確認して［ ▶ ］ボタンを押します。**



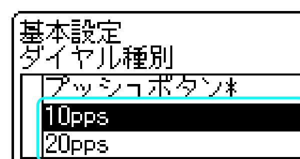


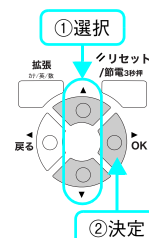
プッシュボタン	「ピッポッパッ」という音がするタイプの回線
10pps/ 20pps	ダイヤル回線の場合に選択します。10pps または 20pps どちらを選択するかは、電話利用時の契約内容をご確認ください。

変更が必要な場合は、次の手順 3 に進みます。
変更の必要がない場合は、次項の「自局番号を設定します」に進みます。
ここでは、プッシュボタン回線から 10pps/20pps 回線へ設定変更する場合を例に説明します。

3 **［ ▲ ］または［ ▼ ］ボタンを押して、［10pps］または［20pps］を選択し、［ ▶ ］ボタンを押します。**

［ ▶ ］ボタンの押下で、設定が有効になります。





以上でダイヤル種別の設定は終了です。

次に自局番号の設定を行います。

自局番号を設定します

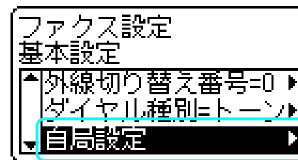
設定した自局番号は、送信ファクスに印字されます。

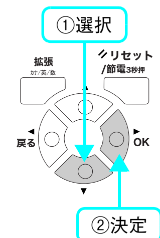


自局名称は添付の EPSON Speed Dial Utility を使用して入力してください。
『活用ガイド』（紙マニュアル）-「ファクス機能」-「宛先の登録方法」

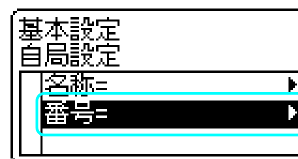
1 **［▼］ボタンを押して［自局設定］を選択し、［▶］ボタンを押します。**

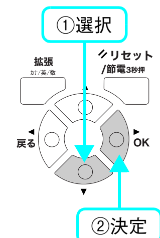
上記の手順通りにならない場合は、次の手順からやり直してください。
本書 52 ページ「回線の設定を行います」





2 **［▼］ボタンを押して［番号］を選択し、［▶］ボタンを押します。**

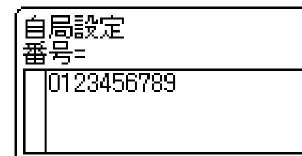


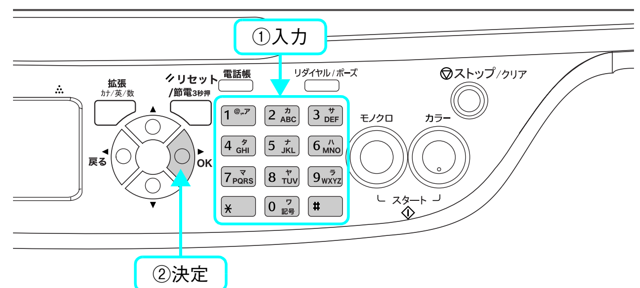


3 **テンキーを押して、自局番号を入力して、［▶］ボタンを押します。**

入力する番号を間違えた場合は、［◀］ボタンを押して戻るか、［ストップ / クリア］ボタンを押して消去して戻り、入力し直します。

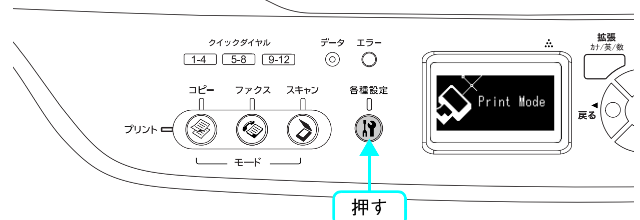
［＊］キーを押すと「+」、［#］キーを押すとスペースを入力することができます。





4 **番号の入力が終わったら、［各種設定］ボタンを押します。**

操作パネルの表示が［プリントモード］になります。





送信ファクスに自局番号や発信者名を表示させたくない場合は、操作パネルの［各種設定］ボタン -［ファクス設定］-［送信設定］-［発信元記録］を［しない］に設定します。
『活用ガイド』（紙マニュアル）-「ファクス機能」-「ファクスを使う前に」

以上でファクス機能の初期設定作業は終了です。
次にステータスシート（簡易版）を印刷して、本機が正しく動作するか確認します。

動作確認

ステータスシートを印刷します

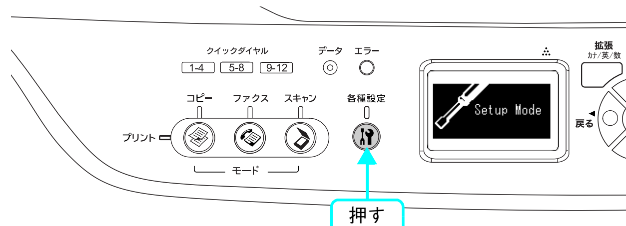
ここでは、本機の印刷機能が正常に機能しているか、また取り付けたオプションが認識されているかどうかを確かめるための、ステータスシート（簡易版）の印刷と確認方法を説明します。



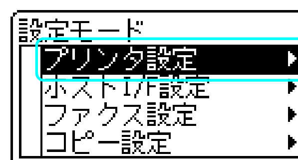
自局名称は添付の EPSON Speed Dial Utility を使用して入力してください。
☞『活用ガイド』（紙マニュアル）-「ファクス機能」-「宛先の登録方法」

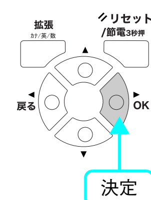
1 **操作パネルの[各種設定]ボタンを押します。**

各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。

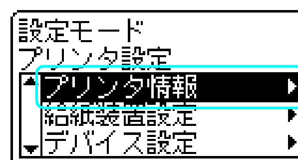


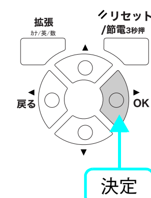
2 **［設定モード］で［プリンタ設定］が選択されていることを確認して、［ ▶ ］ボタンを押します。**





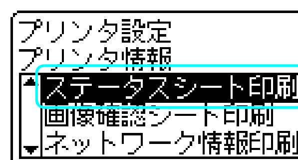
3 **［プリンタ情報］が選択されていることを確認して、［ ▶ ］ボタンを押します。**

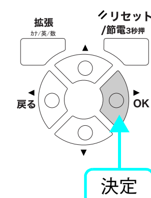




4 **［ステータスシート印刷］が選択されていることを確認して、［ ▶ ］ボタンを押します。**

データランプが点滅し、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。





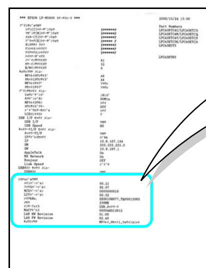




5 ステータスシートが印刷されたか確認します。

次のようなステータスシートが印刷できれば、本機の印刷機能は正常に機能しています。

ステータスシート（簡易版）



USBﾎｽﾄ	ﾂｶｳ
ｼｽﾃﾑｼﾞｮｳﾎｳ	
ﾒｲﾝﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	00.21
ﾌｧｸｽﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	92.07
MCUﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	0000000016
LUTﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	00.02
ｼﾘｱﾙNo.	GXG0108677,TQ00015065
ﾒﾓﾘ	256MB
ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ	USB,ﾈｯﾄﾜｰｸ
MACｱﾄﾞﾚｽ	000048D13812
LAN HW Revision	01.00
LAN FW Revision	02.40
ｷｭｳｼｿｳﾁ	MPﾄﾚｲ,ｶｾｯﾄ1,ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄ

オプションの情報を表示します

増設メモリを装着している場合

- ［システムジョウホウ］の［メモリ］の項目に、標準搭載メモリ（ベースモデルの場合は 128MB、ADF モデル / FAX モデルの場合は 192MB）と増設したメモリ容量の合計値が表示されていれば、正しく認識されています。

増設カセットを装着している場合

- ［システムジョウホウ］の［キュウシソウチ］の項目に、［カセット 2］～［カセット 4］が表示されていれば、正しく認識されています。

続いて、スキャナ機能の確認をします。

ステータスシートをコピーします

ここでは、本機のコピー機能が正常に機能しているか、先ほど印刷したステータスシートをコピーして確認する方法を説明します。

1 50 ～ 51 ページで印刷したステータスシートをセットします。

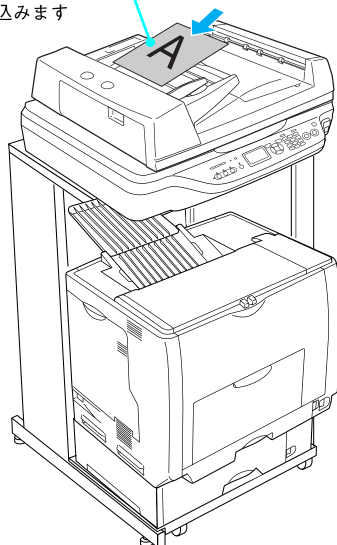
50 ～ 51 ページ

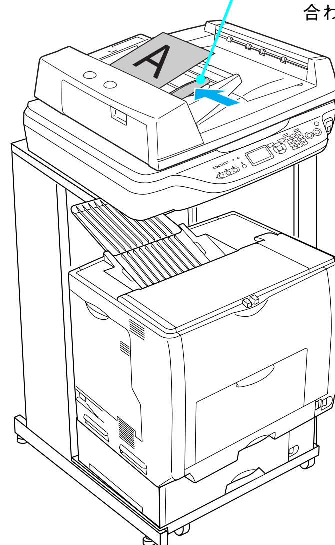
ステータスシートが 2 枚印刷された場合は、どちらか片方をセットします。

ADF モデル /FAX モデルの場合

①オートドキュメントフィーダに取り込む面（印刷面）を上にしてステータスシートを差し込みます。

②用紙ガイドをステータスシートの側面に合わせます。



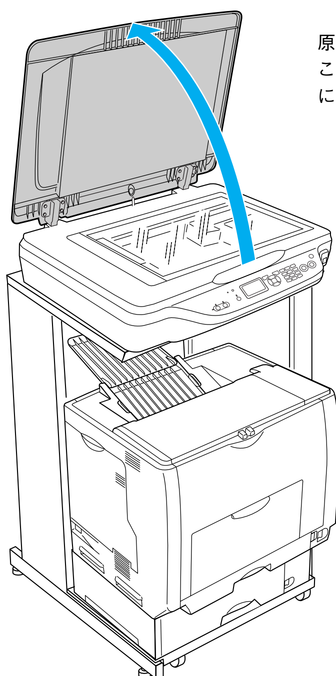


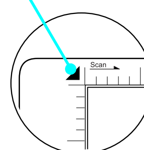
ベースモデルの場合

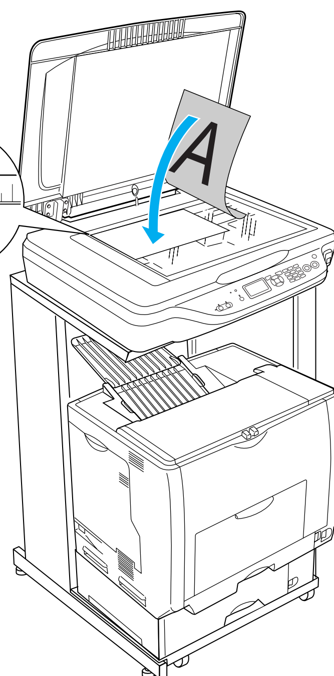
①原稿カバーを開けます。

②取り込む面（印刷面）を下にして、ステータスシートをセットします。

③原稿カバーを閉じます。

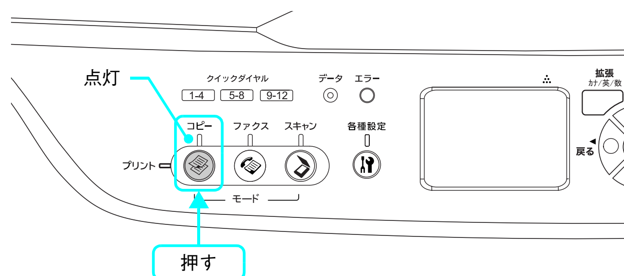




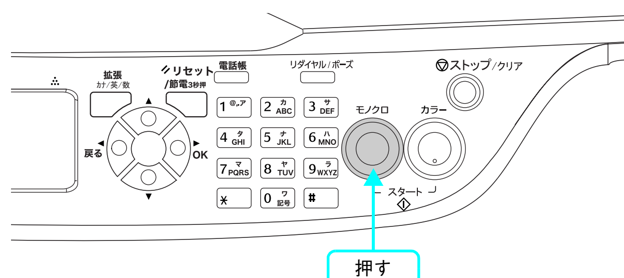


2 ［コピー］ボタンを押して、コピーモードに切り替えます。

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

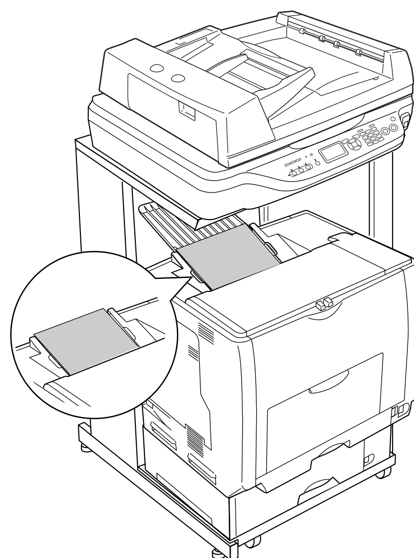


3 ［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。



4 排紙トレイにコピー結果が出力されるか確認します。

きれいにコピーされていれば、本機のスキャナ機能は正常に動作しています。



5 セットしたステータスシートを取り除きます。

以上で本体のセットアップはすべて終了です。

本機をコンピュータと接続して使用する場合は、以下のページに進んでください。

USB 接続の場合：
本書 61 ページ「USB 接続でのセットアップ」
ネットワーク接続の場合（Windows）：
本書 68 ページ「ネットワーク接続でのセットアップ（Windows）」
ネットワーク接続の場合（Mac OS）：
『ネットワーク設定ガイド』（PDF マニュアル）-「ネットワークインターフェイス設定」

すぐにコピー機能とファクス機能を使用する場合は、『活用ガイド』（紙マニュアル）をご覧ください。

コピー機能：
『活用ガイド』（紙マニュアル）-「コピー」
ファクス機能：
『活用ガイド』（紙マニュアル）-「ファクス機能」



本機の操作パネルからローカル接続またはネットワーク接続されたコンピュータにスキャンデータを送る場合は、「EPSON Creativity Suite」と「PageManager For EPSON」（Windows のみ）をインストールする必要があります。以下を参照してインストールしてください。
『活用ガイド』（紙マニュアル）-「スキャン」

USB 接続でのセットアップ

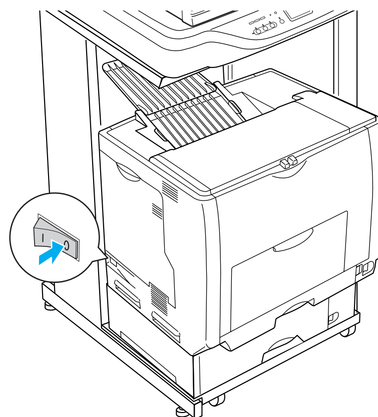
USB ケーブルを接続します

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、次のオプションのケーブルを使用してください。

型番	商品名
USBCB2	EPSON USB ケーブル

1 本機の電源を切ります。

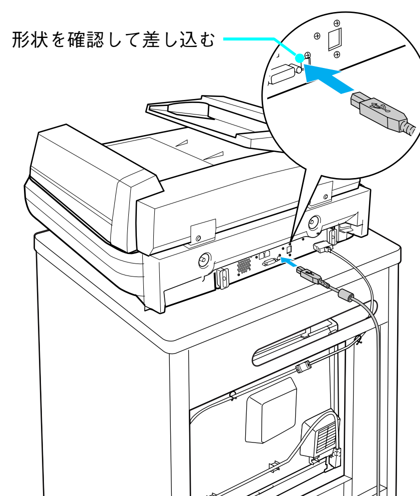
USB ケーブルは、コンピュータおよび本機の電源が入った状態で抜き差しできますが、この後、ソフトウェアのインストールを確実に行うために、ここでは本機の電源を切ってからケーブルを接続します。



2 USB ケーブルを本機のコネクタに接続します。

接続口の形状とケーブルの形状を確認して接続してください。

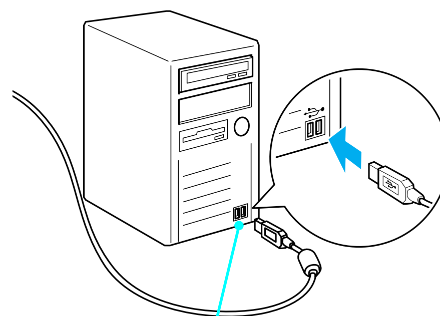
USB ハブ(複数の USB 機器を接続するための中継機)を使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお勧めします。



参考

お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、そのような場合はコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

3 もう一方の USB ケーブルのコネクタをコンピュータに接続します。



以上で USB ケーブル接続は終了です。

次にソフトウェアのインストールを行います。

初期設定でインストールされるソフトウェアの概要

ソフトウェア名称	説明
EPSON Scan *	本機のスキャナを使用して、コンピュータに画像を取り込むためのソフトウェアです。
プリンタドライバ	コンピュータから本機に印刷するために必要なソフトウェアです。
EPSON ステータスモニタ	コンピュータから本機の状態を確認することができるソフトウェアです。
ソフトウェア機能ガイド for Windows/for Mac OS	本機をコンピュータ上からお使いいただくための情報とプリンタドライバ、EPSON Scan の機能を説明した PDF 形式の取扱説明書です。
EPSON Creativity Suite	印刷機能、スキャン機能を活用するための機能を集めたソフトウェアです。
ユーザー登録「MyEPSON」アシスタント	インターネットを通じてユーザー登録していただくためのソフトウェアです。

＊ Windows Server 2003 には対応していないため、インストールされません。



上記以外にも各種ユーティリティなどが『EPSON ソフトウェア CD-ROM』に収録されています。収録されているソフトウェアの名称については、『EPSON ソフトウェア CD-ROM』表面の記載をご覧ください。

ご使用の OS に応じて、以下のページに進んでください。

Windows：

☞ 本書 63 ページ「ソフトウェアのインストール（Windows）」

Mac OS X：

☞ 本書 65 ページ「ソフトウェアのインストールと設定（Mac OS X）」

ソフトウェアのインストール（Windows）

印刷およびスキャンに必要なソフトウェアをインストールします。
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、管理者権限をお持ちの方がインストールしてください。



スキャナドライバ（EPSON Scan）は Windows Server 2003 には対応していないため、インストールされません。

1 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

2 **コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

3 **しばらくして右の画面が自動的に表示されたら、画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

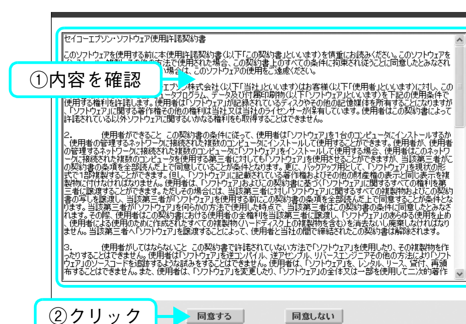
ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックして、手順 1 からやり直します。



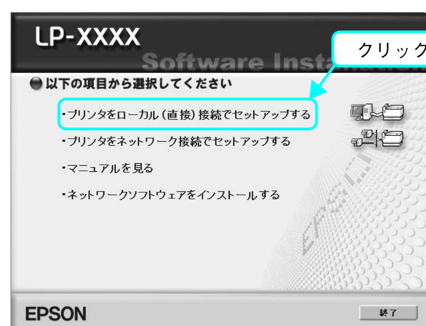
画面が自動的に表示されないときは、［マイコンピュータ］内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。



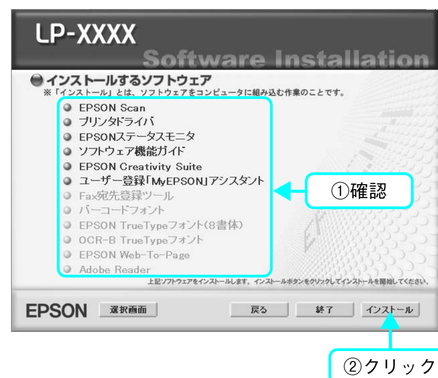
4 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**



5 **［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］をクリックします。**



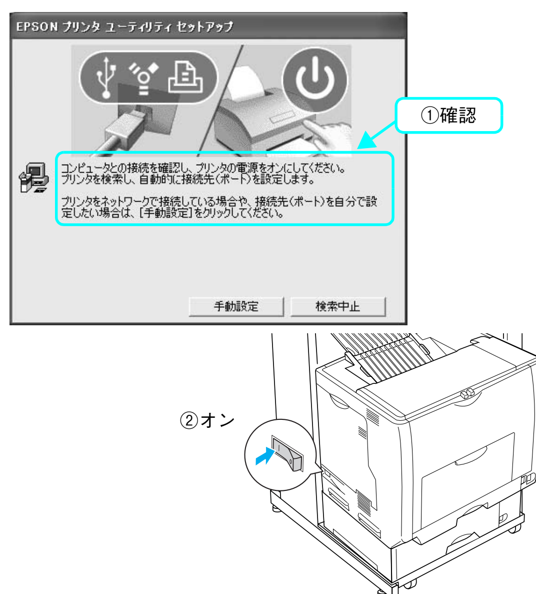
6 インストールするソフトウェアを確認して、［インストール］をクリックします。



> **参考**
> ［選択画面］をクリックすると、インストールするソフトウェアを選択することができます。

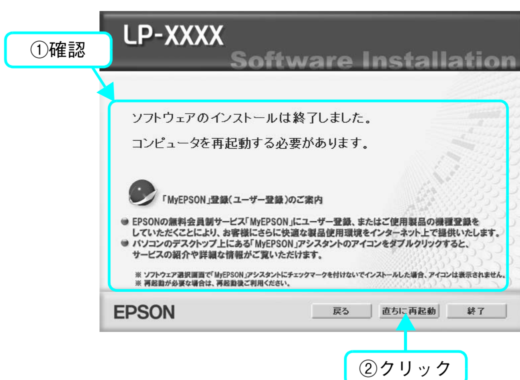
7 右の画面が表示されたら、本機の電源を入れます。

本機の電源を入れると右の画面が自動的に消え、インストールが続きます。



8 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［直ちに再起動］をクリックします。

［直ちに再起動］が表示されない場合は、［終了］をクリックしてください。



> **参考**
> インストールが終了すると［「MyEPSON」アシスタント］のショートカットがデスクトップ上に作成されます。ダブルクリックして、ユーザー登録されることをお勧めします。

以上で、ソフトウェアのインストールは終了です。

- コピー/ファクス/操作パネルからのスキャンの方法については、『活用ガイド』(紙マニュアル)をご覧ください。
- コンピュータからの印刷、スキャンの方法については、『ソフトウェア機能ガイド』(PDF マニュアル)をご覧ください。

ソフトウェアのインストールと設定（Mac OS X）

印刷およびスキャンに必要なソフトウェアをインストールします。
管理者権限をお持ちの方がインストールを行ってください。

1 インストールするドライブが HFS+ 形式でフォーマットされたドライブか確認します。

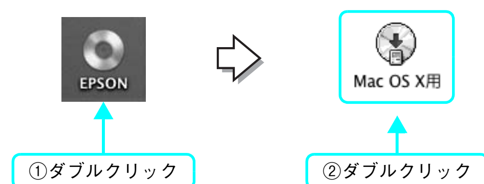
UNIX ファイルシステム（UFS）形式のドライブにはインストールできません。詳しくは以下のページを参照してください。

☞ 本書 82 ページ「ドライバのインストールが できない（USB 接続）」

2 ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。

3 コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。

4 インストーラ（Mac OS X用）を起動します。

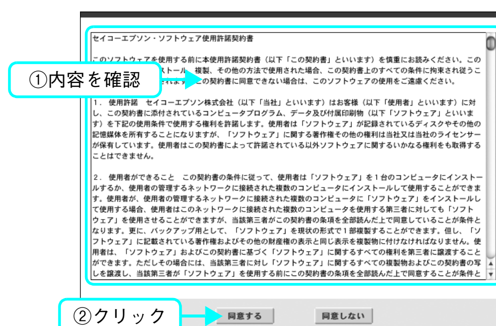


5 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。

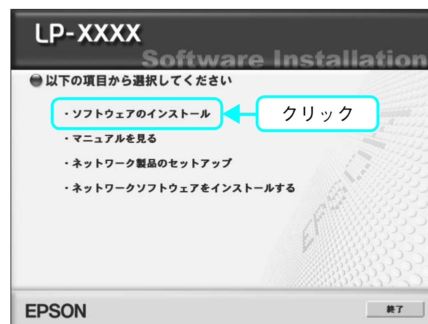
ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックして、手順 2 からやり直します。



6 画面の内容を確認し、［同意する］をクリックします。

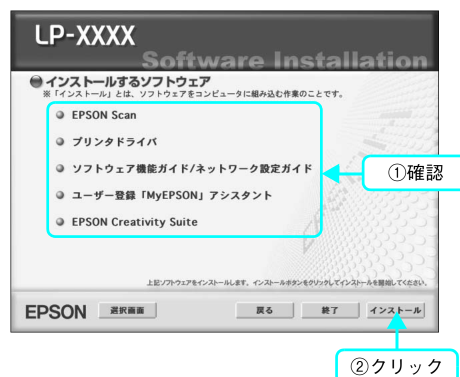


7 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。



8 インストールするソフトウェアを確認して、［インストール］をクリックします。

> **参考**
> ［選択画面］をクリックすると、インストールするソフトウェアを選択することができます。

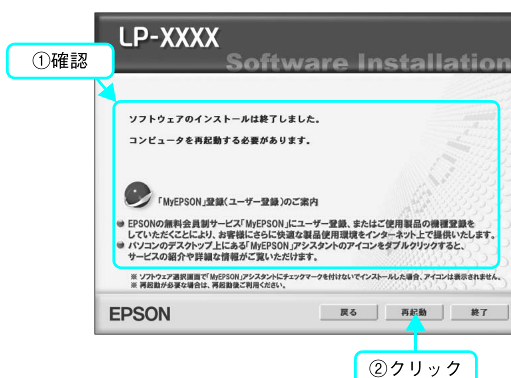


9 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

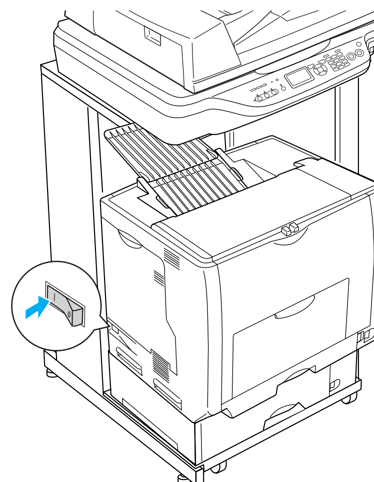
10 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［再起動］をクリックします。

［再起動］が表示されない場合は、［終了］をクリックしてください。

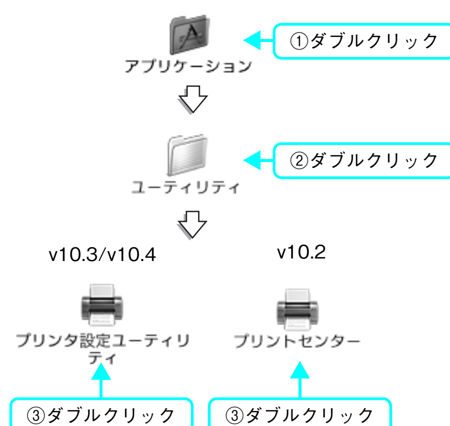
Mac OS が再起動したら、次の手順に進みます。



11 本機の電源を入れます。



12 ［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダから［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］をダブルクリックします。

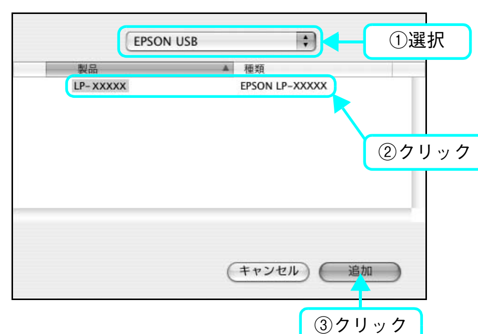


13 ［追加］をクリックします。

リストに使用可能なプリンタがない場合は、追加を促すダイアログが表示されますので［追加］をクリックします。



14 ［EPSON USB］を選択します。リストから本機を選択し、［追加］をクリックします。



15 プリンタリストに追加されたことを確認して、画面を閉じます。

> **参考**
> - インストールが終了すると［「MyEPSON」アシスタント］のショートカットがデスクトップ上に作成されます。ダブルクリックして、ユーザー登録されることをお勧めします。
> - 本製品には、Mac OS 9 用のソフトウェアは同梱されていません。エプソンのホームページからダウンロードしてください。
>   ＜ http://www.epson.jp/ ＞

以上でソフトウェアのインストールは終了です。

- コピー/ファクス/操作パネルからのスキャン方法については、『活用ガイド』（紙マニュアル）をご覧ください。
- Mac OS X からの印刷、スキャンの方法については、『ソフトウェア機能ガイド』（PDF マニュアル）をご覧ください。

ネットワーク接続でのセットアップ (Windows)

本機をネットワークに接続して、複数のコンピュータで共有するための接続方法を説明します。

参考

次の場合は、本書ではなく『EPSON ソフトウェア CD-ROM』収録の『ネットワーク設定ガイド』(PDF マニュアル）をご覧ください。

- DHCP サーバ（ネットワーク上のコンピュータや機器に、IP アドレスを自動的に割り当てる機能）を使用して、本機にアドレスを設定したい場合
- TCP/IP 以外のプロトコルを使用したい場合
- Mac OS で印刷したい場合

セットアップの流れ

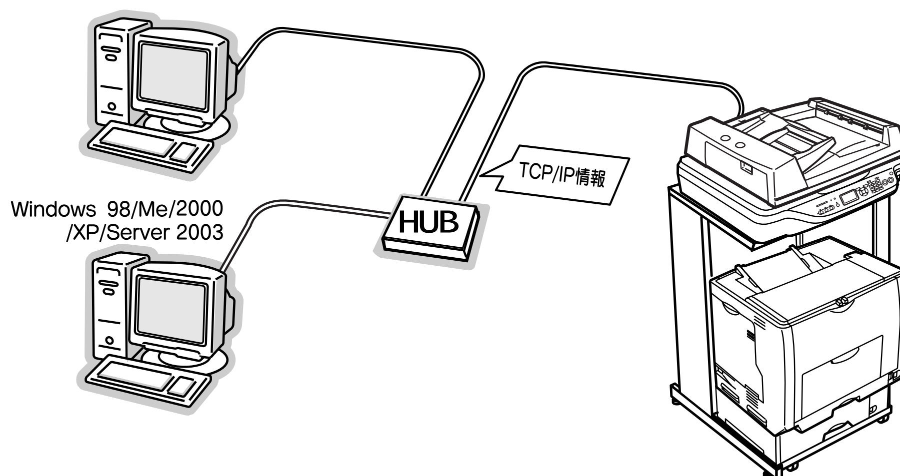
ここでは、プロトコルとして TCP/IP＊1 を使用し、本機に固有のアドレスを指定する方法を説明します。

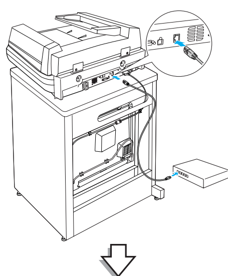
ネットワーク接続には、Ethernet ケーブル＊2 とハブ＊3 が必要です。

*1 TCP/IP：ネットワークの通信にはさまざまな規約があり（これをプロトコルといいます）、TCP/IP はその中の 1 つです。インターネット上の通信で使用される、世界的な標準プロトコルです。ネットワーク上のすべてのコンピュータに組み込む必要があります。

*2 Ethernet ケーブル：市販の Ethernet インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用してください。Ethernet とはネットワークの規格のことで、ケーブルの接続の規格には 10Base と 100Base があります。本機のネットワークインターフェイスは、10Base-T（テンベースティー）、100Base-TX（ヒャクベースティーエックス）に対応しています。本機のネットワークインターフェイスには、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5）を使用してください。

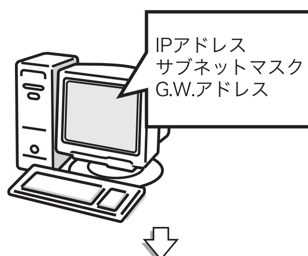
*3 ハブ：Ethernet インターフェイスケーブルを接続するための集線装置です。ネットワーク上のコンピュータやプリンタは HUB を介して接続します。





手順１：ネットワーク環境への接続　　70 ページ

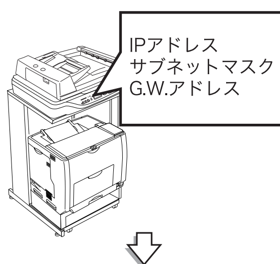
本機をネットワーク環境に接続します。



手順２：ネットワークに接続したコンピュータのアドレス設定

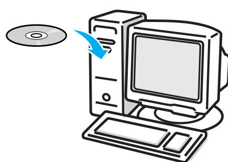
すでに IP アドレスなどが設定されているときは、この手順は不要です。

IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータのある環境では GW（ゲートウェイ）アドレスも設定します。詳しくは、本機に付属の『EPSON ソフトウェア CD-ROM』に収録されている『ネットワーク設定ガイド』（PDF マニュアル）を参照してください。



手順３：本機のアドレス設定　　71 ページ

本機に付属の『EPSON ソフトウェア CD-ROM』に収録されているユーティリティを使用して、本機のネットワークインターフェイスに対して、IP アドレスを設定します。



手順４：本機を利用するコンピュータへのソフトウェアのインストール　　75 ページ

本機に付属の『EPSON ソフトウェア CD-ROM』に収録されているソフトウェアをインストールして、本機を使用できる状態にします。

操作パネルからスキャンを実行する場合は、「EPSON Creativity Suite 」と「PageManager For EPSON」をインストールする必要があります。
「PageManager For EPSON」は、『EPSON ソフトウェア CD-ROM』とは異なる CD-ROM に収録されていますので、『活用ガイド』（紙マニュアル）-「スキャン」を参照してインストールしてください。

初期設定でインストールされるソフトウェアの概要

ソフトウェア名称	説明
EPSON Scan ＊	本機のスキャナを使用して、コンピュータに画像を取り込むためのソフトウェアです。
プリンタドライバ	コンピュータから本機に印刷するために必要なソフトウェアです。
EPSON ステータスモニタ	コンピュータから本機の状態を確認することができるソフトウェアです。
ソフトウェア機能ガイド for Windows/for Mac OS	本機をコンピュータ上からお使いいただくための情報とプリンタドライバ、EPSON Scan の機能を説明した PDF 形式の取扱説明書です。
ネットワーク設定ガイド	本機をネットワーク環境でお使いいただくための情報を説明した PDF 形式の取扱説明書です。
EPSON Creativity Suite	印刷機能、スキャン機能を活用するための機能を集めたソフトウェアです。
ユーザー登録「MyEPSON」アシスタント	インターネットを通じてユーザー登録していただくためのソフトウェアです。

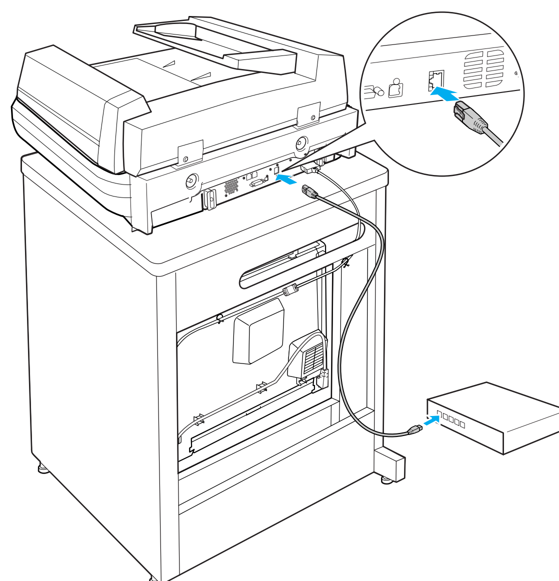
＊ Windows Server 2003 には対応していないため、インストールされません。



上記以外にも各種ユーティリティなどが『EPSON ソフトウェア CD-ROM』に収録されています。収録されているソフトウェアの名称については、『EPSON ソフトウェア CD-ROM』表面の記載をご覧ください。

本機をネットワーク環境に接続します

1 **本機と本機を使用するコンピュータを Ethernet ケーブルを使用してハブに接続します。**



以上で本機をネットワーク環境に接続する手順は終了です。
次に本機のネットワークインターフェイスにアドレスを設定します。

本機のアドレスを設定します

本機に付属の『EPSON ソフトウェア CD-ROM』に収録されている「EpsonNet EasyInstall」を起動して、本機をネットワーク環境で使用可能な状態にします。本機と同一セグメント*内にあるコンピュータを使用して設定してください。

* セグメント：Ethernet ケーブルで接続され、同一のネットワークに属するコンピュータやその他の機器のまとまり。セグメントとセグメントを接続するためには、ルータやブリッジなどの機器が必要。

1 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

2 **コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

3 **しばらくして右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

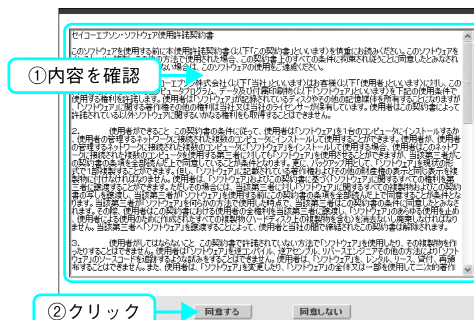
ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックして、手順 2 からやり直します。



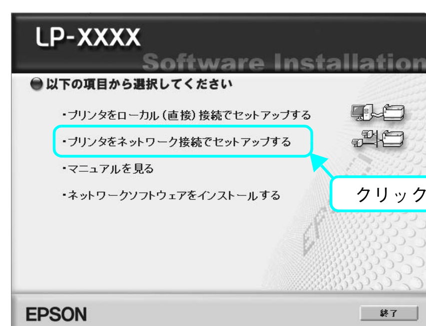
参考

画面が自動的に表示されないときは、［マイコンピュータ］内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

4 **画面の内容を確認し、［同意する］をクリックします。**



5 **［プリンタをネットワーク接続でセットアップする］をクリックします。**



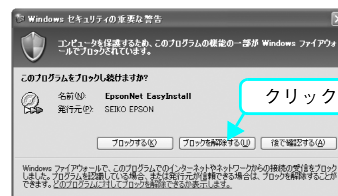
6 インストールするソフトウェアを確認して、［インストール］をクリックします。

EpsonNet EasyInstall が起動します。

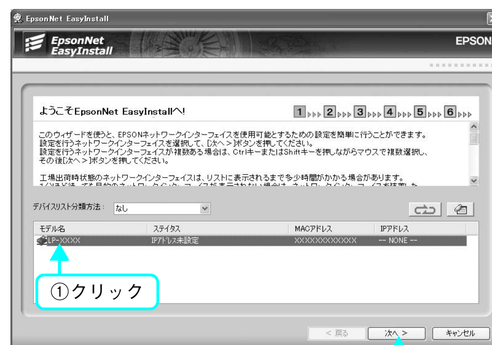


> **参考**
>
> ［選択画面］をクリックすると、インストールするソフトウェアを選択することができます。

7 「Windows XP Service Pack2 セキュリティ強化機能搭載」をインストールしている環境で、右の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックします。

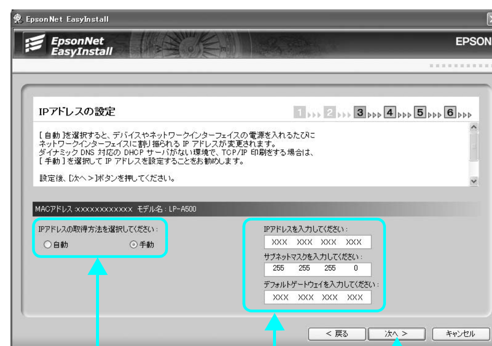


8 一覧から本機を選択して、［次へ］をクリックします。



> **参考**
>
> 本機が表示されない場合は、ケーブルが確実に接続されているか、本機の電源が入っているか確認してください。

9 ［手動］にチェックが付いていることを確認して、ネットワークインターフェイスに割り振る各アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。



> **参考**
>
> IP アドレスに初期値と同じ［192.168.192.168］を使用する場合も、一旦初期値を消してから、再入力してください。初期値の状態では使用できません。

10 設定内容を確認して、［次へ］をクリックします。

IP アドレス情報が、本機のネットワークインターフェイスに送信されます。



11 ［通信設定完了］が表示されたら、［次へ］をクリックします。



12 表示された機種名を確認して、通常使うプリンタに設定するかどうかを選択した後、［次へ］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが始まります。



13 テスト印刷をする場合は［はい］、しない場合は［いいえ］を選択して、［次へ］をクリックします。



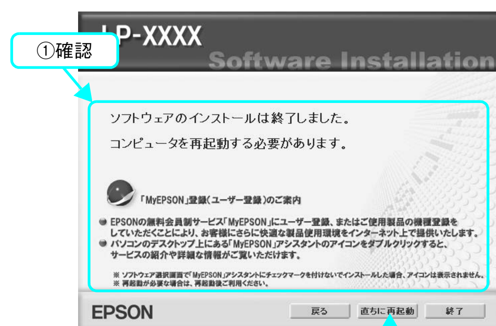
14 ［完了］をクリックします。



15 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

16 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［直ちに再起動］をクリックします。

［直ちに再起動］が表示されない場合は、［終了］をクリックしてください。



続いて、スキャン機能の接続確認をします。以下のページに進んでください。

本書 78 ページ「スキャン機能の接続先を設定します」

本機を利用するコンピュータへソフトウェアをインストールします

画面の指示に従って本機をネットワーク環境で使用可能な状態にします。

1 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

2 **コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

3 **しばらくして右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

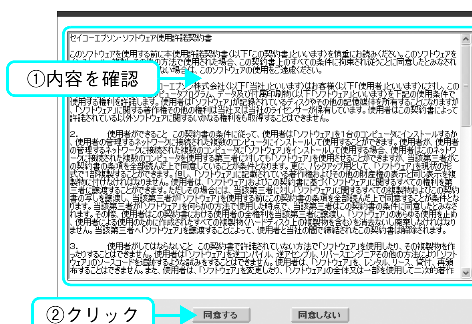
ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックして、手順 2 からやり直します。



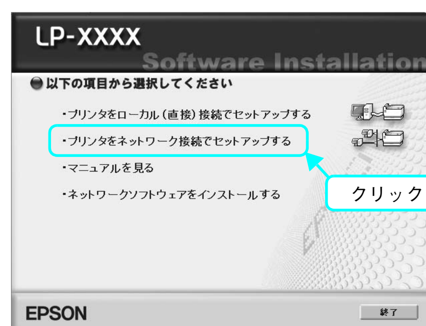
参考

画面が自動的に表示されないときは、［マイコンピュータ］内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

4 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**



5 **［プリンタをネットワーク接続でセットアップする］をクリックします。**



6 インストールするソフトウェアを確認して、［インストール］をクリックします。

EpsonNet EasyInstall が起動します。

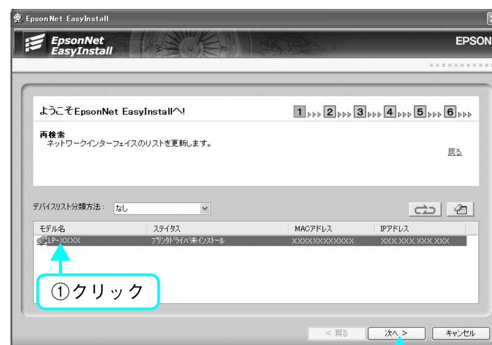


> **参考**
>
> ［選択画面］をクリックすると、インストールするソフトウェアを選択することができます。

7 「Windows XP Service Pack2 セキュリティ強化機能搭載」をインストールしている環境で、右の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックします。



8 一覧から本機を選択して、［次へ］をクリックします。



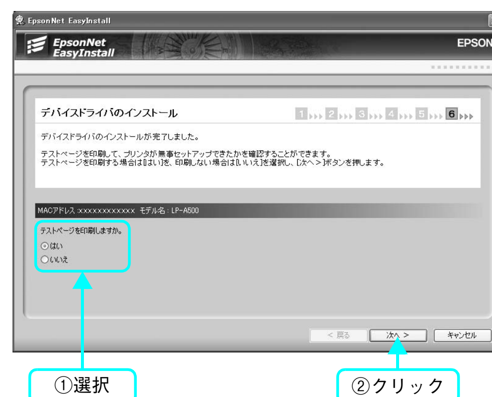
> **参考**
>
> 本機が表示されない場合は、ケーブルが確実に接続されているか、本機の電源が入っているか確認してください。

9 表示された機種名を確認して、通常使うプリンタに設定するかどうかを選択した後、［次へ］をクリックします。

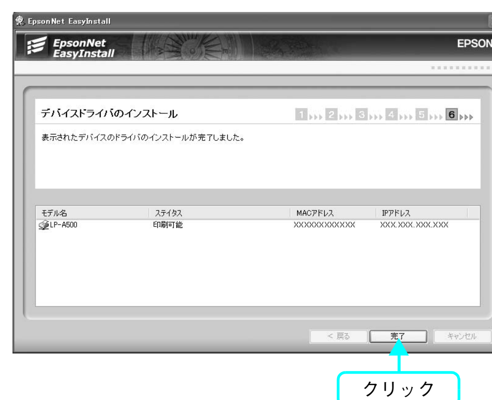
プリンタドライバのインストールが始まります。



10 テスト印刷をする場合は［はい］、しない場合は［いいえ］を選択して、［次へ］をクリックします。



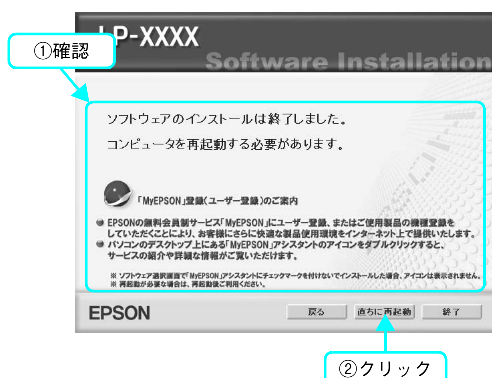
11 ［完了］をクリックします。



12 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

13 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、［直ちに再起動］をクリックします。

［直ちに再起動］が表示されない場合は、［終了］をクリックしてください。



以上で本機の印刷機能をネットワーク環境で使用するためのセットアップ作業は終了です。

続いて、スキャン機能の接続確認をします。以下のページに進んでください。

☞ 本書 78 ページ「スキャン機能の接続先を設定します」

スキャン機能の接続先を設定します

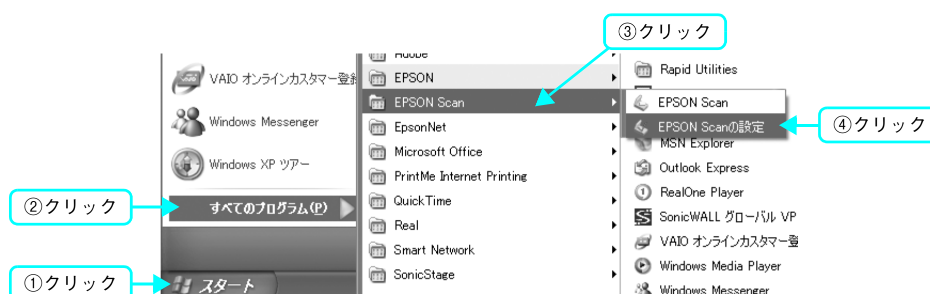
スキャン機能には、コンピュータからスキャンする機能と操作パネルからスキャンする機能の 2 種類があります。ここでは、コンピュータからスキャンする場合の接続先を設定します。

参考

操作パネルからスキャンを実行する場合は、「EPSON Creativity Suite」と「PageManager For EPSON」をインストールする必要があります。
「PageManager For EPSON」は、『EPSON ソフトウェア CD-ROM』とは異なる CD-ROM に収録されていますので、以下を参照してインストールしてください。
☞『活用ガイド』（紙マニュアル）-「スキャン」

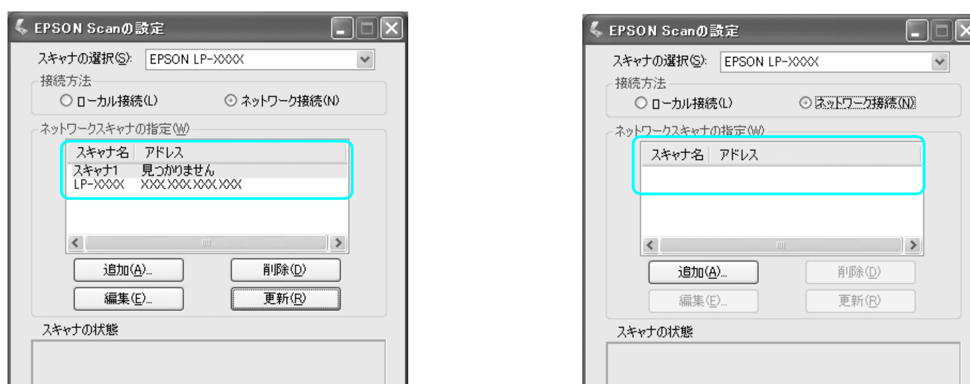
1 ［EPSON Scan の設定］画面を開きます。

［スタート］ － ［すべてのプログラム］（または ［プログラム］） － ［EPSON Scan］ － ［EPSON Scan の設定］の順にクリックします。

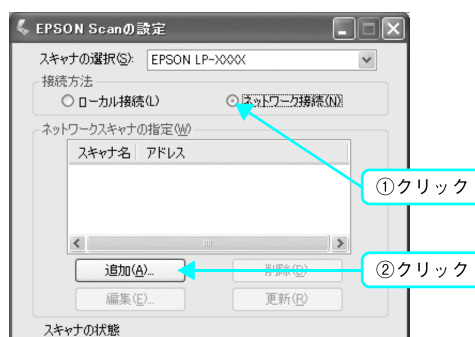


2 設定状態を確認します。

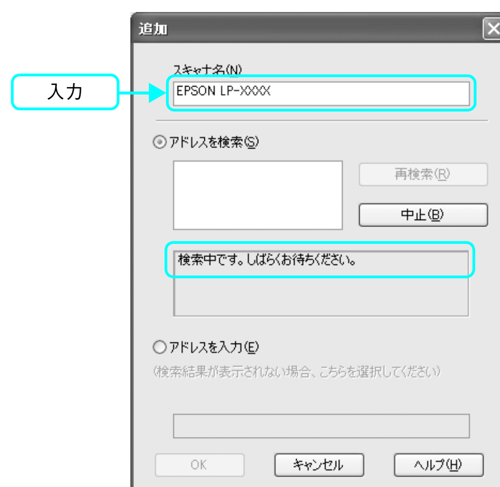
本書の手順に従ってインストールすると、左の画面のように、本機が一覧に表示されています。この場合は、手順 6 へ進みます。
右の画面のように、一覧に本機が表示されていない場合は、次の手順に進みます。



3 ［ネットワーク接続］をクリックして、［追加］をクリックします。

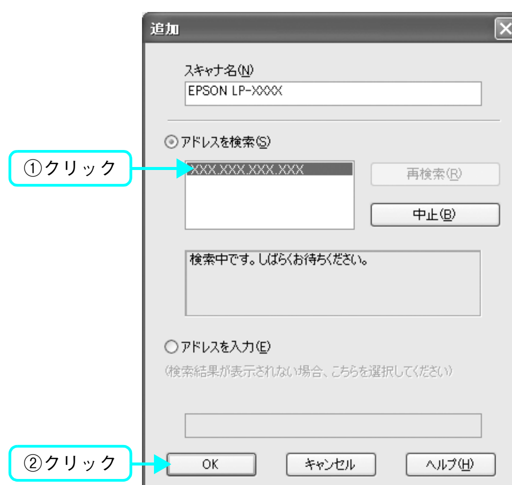


4 ［スキャナ名］を入力して、検索が終了するのを待ちます。



5 本機の IP アドレスをクリックして、［OK］をクリックします。

アドレスが表示されない場合は、接続を確認して［再検索］をクリックするか、［アドレスを入力］をクリックして、直接 IP アドレスを指定してください。

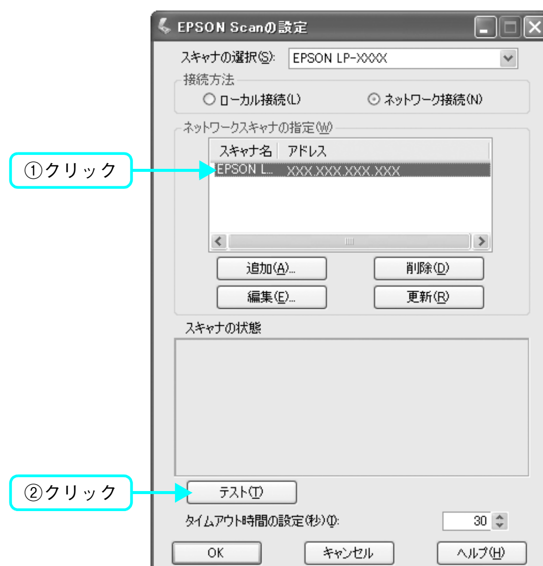




ネットワークが複数存在する環境の場合、アドレスが表示されないことがあります。IP アドレスを直接指定してください。

6 接続するスキャナをクリックして、[テスト] をクリックします。

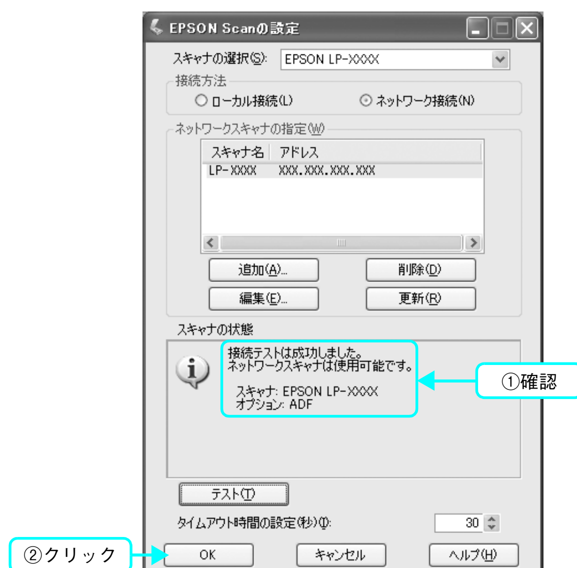
[EPSON Scan の設定] 画面を開いた直後は、本機の検索中のため選択できません。検索が終了して選択できるようになるまで少しお待ちください。



7 [接続テストは成功しました] と表示されるのを確認して、[OK] をクリックします。

スキャナが使用可能な状態にならない場合は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 82 ページ「ネットワークインターフェイスの設定ができない / ネットワーク印刷、スキャンができない」



以上ですべての準備作業は終了です。

- コピー / ファクス / ネットワークスキャンの方法については、『活用ガイド』(紙マニュアル)をご覧ください。
- コンピュータからの印刷、スキャンの方法については、『ソフトウェア機能ガイド』(PDF マニュアル)をご覧ください。

困ったときは

セットアップができない

トラブル状態	対処方法
電源が入らない	**電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか？** 電源コードを本機とコンセントに、確実に差し込んでください。 **コンセントに電源は来ていますか？** コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。 **プリンタ部とスキャナ部をケーブルで接続していますか？** プリンタ部背面とスキャナ部背面のコネクタが専用のケーブルで接続されていることを確認してください。接続されていないときは、専用ケーブルの取り付け方向に注意して接続してください。 本書 32 ページ「専用ケーブルを接続します」 **正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？** コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。 コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。
エラーが表示される	**「スキャナのロックを解除してください」と表示されていませんか？** スキャナ部背面の輸送用固定レバーが解除されていません。輸送用固定レバーを解除して、電源を入れ直してください。 **その他のエラーが表示されている場合は、『活用ガイド』（紙マニュアル）を参照して対処してください。** 『活用ガイド』（紙マニュアル）-「困ったときは」-「操作パネルにメッセージが表示される」では、操作パネルのメッセージとその内容、対処方法を説明しています。

トラブル状態	対処方法
ドライバのインストールができない（USB 接続）	**お使いのコンピュータは Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003 プレインストールマシンまたは Windows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000/XP にアップグレードされたマシンですか？** Windows 95 から Windows 98/Me/2000 へアップグレードしたコンピュータや USB ポートの動作が保証されていないコンピュータでは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピューターメーカーへご確認ください。 **Mac OS X をご使用の場合に、UNIX ファイルシステム（UFS）形式でフォーマットしたドライブにソフトウェアをインストールしていませんか？** Mac OS Xをインストールする際に、ドライブのフォーマット形式を Mac OS 拡張（HFS+）形式または UNIX ファイルシステム（UFS）形式から選択することができます。本機用のプリンタドライバは、UFS 形式でフォーマットしたドライブでは使うことができませんので、HFS+ 形式でフォーマットしたドライブにインストールしてください。 **CD-ROMのAutorun機能が働いていない可能性があります。** CD-ROM ドライブの CD アイコンをダブルクリックするか、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［EPSETUP.EXE］をダブルクリックすることで、セットアップ画面が表示されます。
ネットワークインターフェイスの設定ができない / ネットワーク印刷、スキャンができない	**ネットワークインターフェイスケーブルが確実に差し込まれていますか？** 本機のコネクタとコンピュータまたはハブ側のコネクタにネットワークインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えて確認してください。 **ハブは正常に動作していますか？** ハブのポートのリンクランプが点灯 / 点滅しているか確認してください。 リンクランプが消灯している場合は、他のポートに接続して、リンクランプが点灯 / 点滅するかどうか確認してください。 他のポートに接続してもリンクランプが消灯している場合は、ハブの電源が入っていないかハブが故障している可能性があります。ネットワーク管理者に確認してください。

トラブル状態	対処方法
設定する IP アドレスがわからない	**ネットワーク管理者へご相談ください。** 外部との接続（インターネットへの接続、電子メールなど）を行う場合は、JPNIC(http://www.nic.ad.jp) に申請を行って、IP アドレスを正式に取得していただく必要がありますので、ネットワーク管理者へご相談ください。 IP アドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件の下に、下記の範囲のプライベートアドレスをご使用になることも可能です（RFC1918 で規定されています）。 プライベートアドレス： 10.0.0.1 ～ 10.255.255.254 172.16.0.1 ～ 172.31.255.254 192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まず本機の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。その上でそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

操作パネルでステータスシートの印刷とコピーができますか？

本書 56 ページ「動作確認」

できる　　　　　　できない





できる場合：エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は本書の巻末に記載されています。

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称や製造番号などをご確認のうえ、ご連絡ください。

できない場合：故障している可能性があります。

- 保守契約をされている場合は、保守契約店にご相談ください。
- 保守契約をされていない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンサービスコールセンターへ修理をご依頼ください。依頼先は、本書巻末に記載されています。
保守サービスのご案内は、『活用ガイド』（紙マニュアル）-「保守サービスのご案内」をご覧ください。



本機の製造番号は『活用ガイド』（紙マニュアル）-「総合仕様」-「製造番号の表示位置」を参照してご確認ください。

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、次のアドレスにてインターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス：http://www.epson.co.jp

Memo

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条　など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

レーザ製品の表示について

本プリンタは、レーザの国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 1 レーザ製品です。識別のため、「クラス 1 レーザ製品」と書かれたラベルを製品に貼付しています。通常使用時には、レーザは内部にありお客様が被爆することはありません。

クラス1レーザ製品

オゾンについて

レーザープリンタの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じることがあります）。印刷中に本機が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（0.1ppm、0.2mg/m^3）を上回ることはありません。ただし、オゾン濃度はプリンタの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境使用条件外での使用
- 狭い部屋での複数レーザープリンタの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

EPSON

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービス KDDI光ダイレクト を利用しています。
なお、下記のように一部ご利用いただけない場合もございます。
＊一部のPHSからおかけいただく場合
＊一部のIP電話事業者からおかけいただく場合
（ご利用の可否はIP電話事業者間の接続状況によります。上記番号への接続可否についてはご契約されているIP電話事業者へお問い合わせください。）
上記番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、（042）511-2949におかけくださいますようお願いいたします。
また、ご利用の通話料金は、ご契約されている通信事業者からの請求に、KDDIからの請求が追加されます。

●修理品送付・持ち込み依頼先　＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンサービス㈱ホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先　＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンサービス㈱ホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話　ナビダイヤル 0570－090－090　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8055 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100 【受付時間】月～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービス KDDI光ダイレクト を利用しています。
なお、下記のように一部ご利用いただけない場合もございます。
＊一部のPHSからおかけいただく場合
＊一部のIP電話事業者からおかけいただく場合
（ご利用の可否はIP電話事業者間の接続状況によります。上記番号への接続可否についてはご契約されているIP電話事業者へお問い合わせください。）
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、下記番号におかけくださいますようお願いいたします。
インフォメーションセンター：042-585-8580
購入ガイドインフォメーション：042-585-8444
また、ご利用の通話料金は、ご契約されている通信事業者からの請求に、KDDIからの請求が追加されます。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌（011）221－7911　東京（042）585－8500　名古屋（052）202－9532　大阪（06）6397－4359　福岡（092）452－3305

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。　http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ（ホームページアドレス http://epson-supply.jp またはフリーコール 0120－251528）でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2006. 3



Printed in Japan 06.xx-xx　XXX

EPSON LP-M5600シリーズ　セットアップガイド